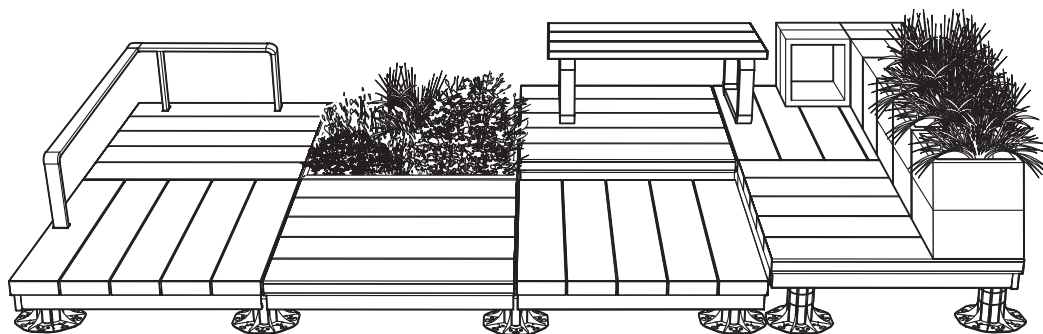


モジュールガーデン DIY用



このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

INDEX

●事前確認

- 1.各部の名称と基本寸法図 3
- 2.レベルアジャスターについて 5

●デッキモジュール編

- 1.梱包明細 6
- 2.施工前の準備 7
- 3.標準納まりの施工 7
- 4.幕板の取付け 14
- 5.入隅納まりの施工 15
- 6.段差納まりの施工 16
- 7.レベルアジャスターの固定 16

●フレームモジュール編

- 1.梱包明細 17
- 2.フレームモジュールの組立て 18

●ベンチモジュール編

- 1.梱包明細 19
- 2.ベンチモジュールの組立て 20

●レールモジュール編

- 1.梱包明細 21
- 2.レールモジュールの組立て 22
- 3.デッキモジュールへの取付け 23

必要工具の準備

- ①作業用軍手
- ②水準器
- ③プラスドライバー
- ④電動ドライバー+φ10木工用ドリル*
- ⑤M8ナット用(＃13)スパナ*

※レールモジュールを取付ける場合

施工時の確認

注意

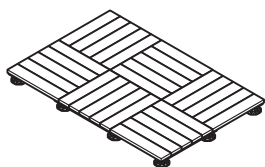
- 設置場所に対して正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 保管時・施工時の人工木の反り・曲がり・伸び等の防止のため、立てかけて保管しないでください。
- 梱包された製品の上に重量物を長時間重ね置きしないでください。反り・曲がりの原因になります。
- 屋上など風が強い場所に設置する場合は、接着剤を使って地面に固定してください。

お願い

- 設置場所の下地を確認して、地盤が軟弱な場合や傾斜がきつい場合には、コンクリート平板やブロックを敷設して水平を出す、または整地工事を行ってから施工してください。
- デッキモジュールやフレームモジュール、ベンチモジュールのデッキ材を切り詰めした後は、必ずオプションの端部キャップを取付けてください。
- 表面についたすりキズは、市販の研磨紙60～80番を用いて除去してください。
- オプションのDC12V照明を取り付ける場合は、別紙EXM235「モジュールガーデンDC12V照明用取付説明書」を参照してください。

施工手順の確認

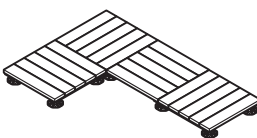
施工前に動画を見て設置手順を確認してください。



●標準納まり



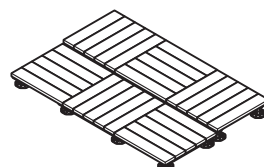
標準納まり
/施工動画



●入隅納まり



入隅納まり
/施工動画



●段差納まり



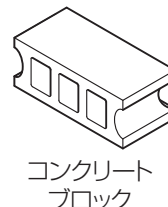
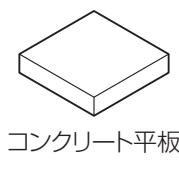
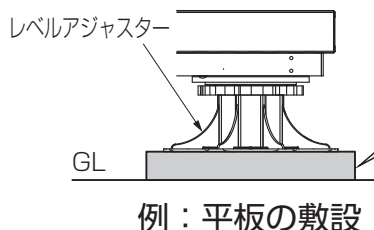
段差納まり
/施工動画

設置場所の確認

- 設置場所の地面が柔らかい場合、大きな段差や凹みがある場合、5%以上の傾斜がある場合には、レベルアジャスターの下にコンクリート平板やブロックを敷設して水平を出す、または整地工事を行ってから施工してください。

＜コンクリート平板やブロックの敷設、整地工事が必要な場合＞

地面が柔らかい場合	大きな段差や凹みがある場合	5%以上の傾斜がある場合

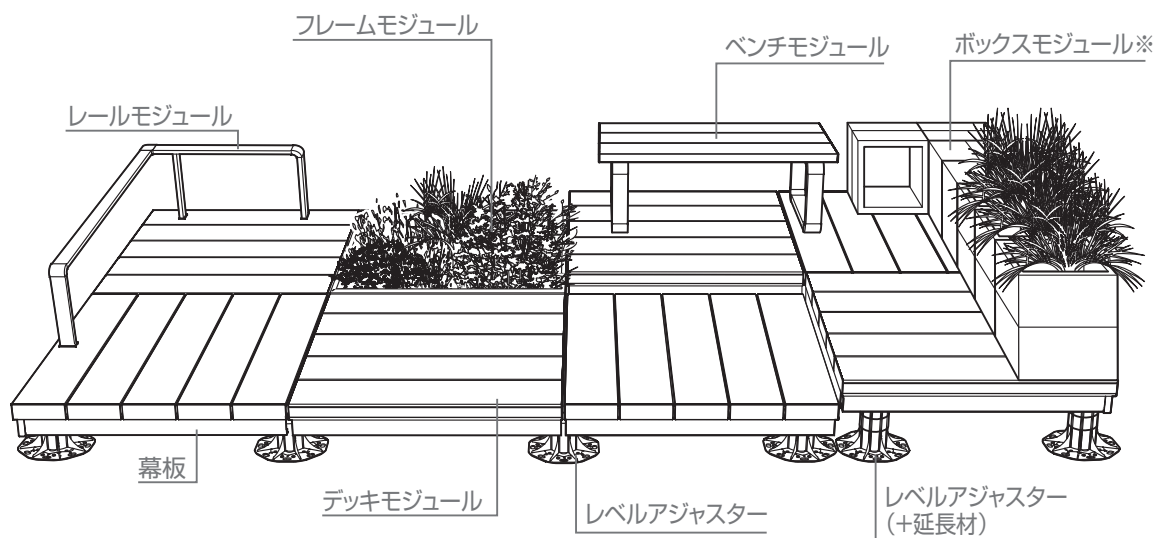


- 180mm角以上のコンクリート平板やブロックをご使用ください。

1 各部の名称と基本寸法図

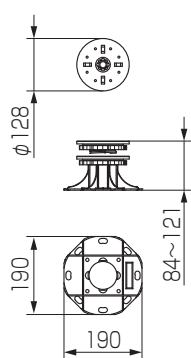
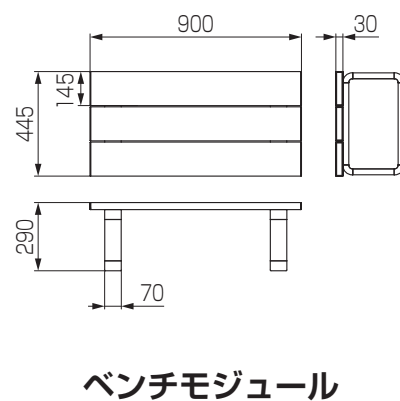
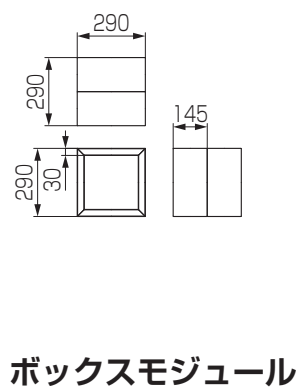
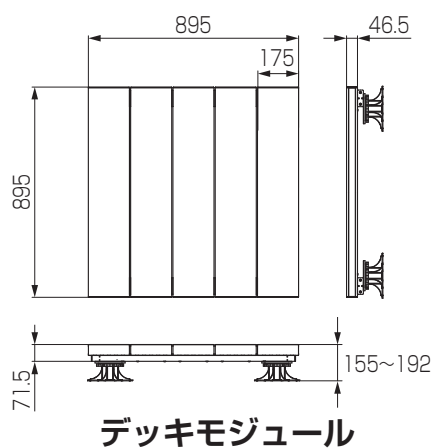
□ 各部名称

※ボックスモジュールは完成品のため本取付説明書への記載はありません。

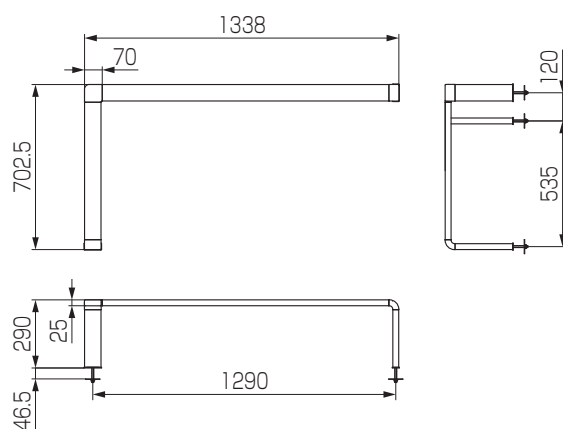
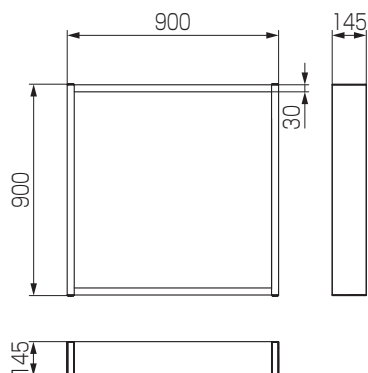


各部の名称と
基本寸法図

□ 基本寸法



※図は高さ延長材無しの場合。

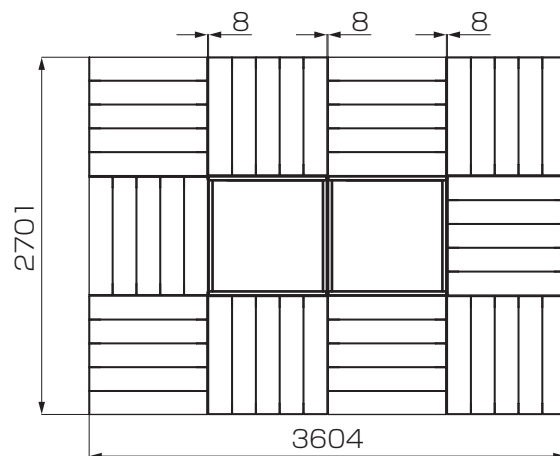
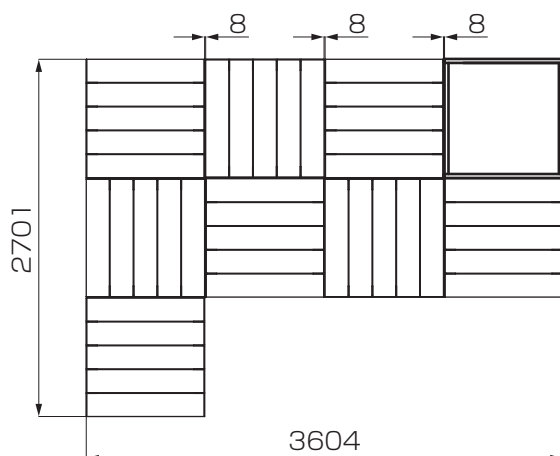
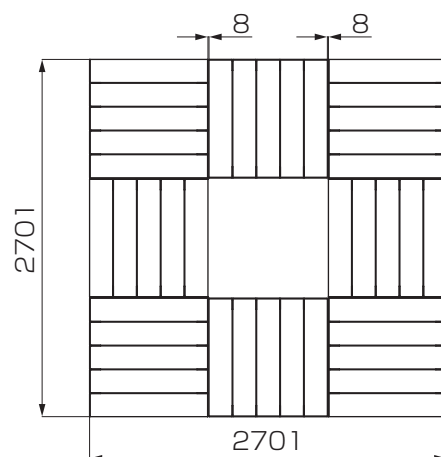
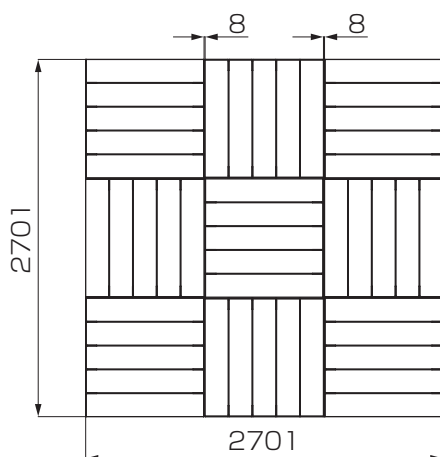
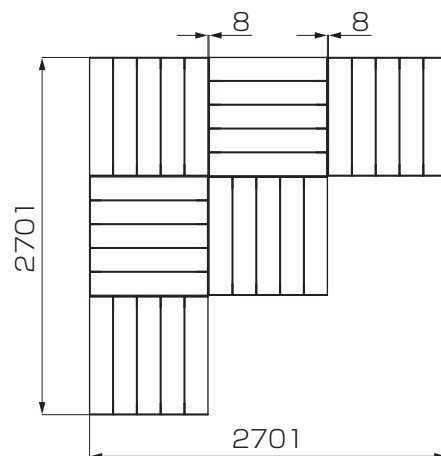
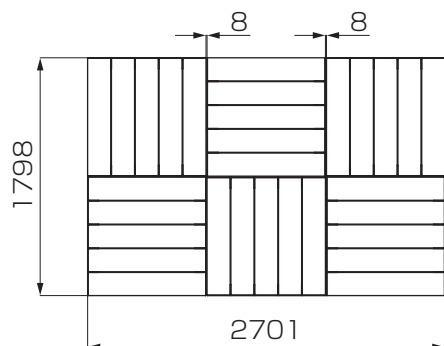
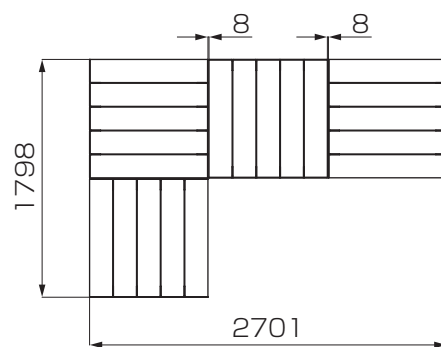
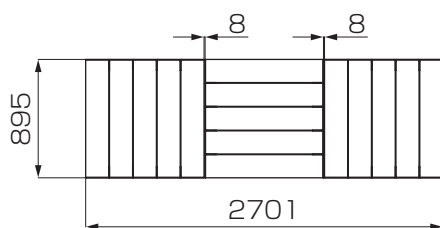


※レールモジュールは左右の組み換えが可能です。
図は右向きの場合。左向きは左右対称です。

1 各部の名称と基本寸法図

□ 納まり寸法

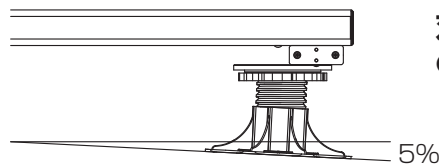
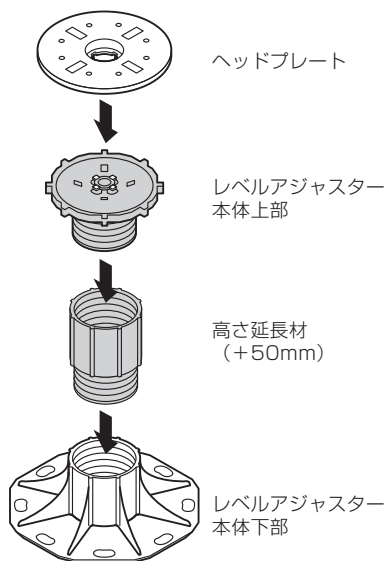
各部の名称と
基本寸法図



2 レベルアジャスターについて

□ レベルアジャスターの調整範囲

- デッキモジュールを配置した後、レベルアジャスターを調整することでデッキ面を水平にすることができます。
- P2「設置場所の確認」を参照して施工条件を確認してください。

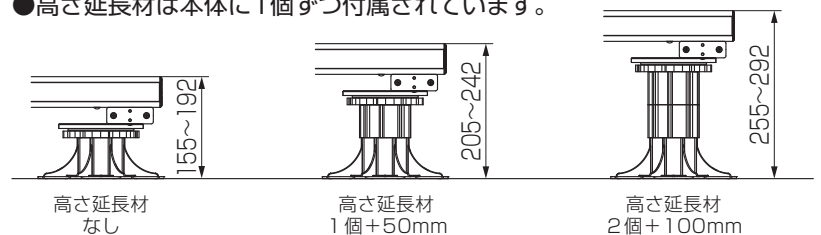


対応傾斜角

- 最大傾斜角5%まで対応します。
それ以上の斜面には設置できません。

高さ調整範囲

- レベルアジャスター単体で37mmの高さ調整が可能です。
- 高さ延長材(+50mm)は最大2個まで追加できます。
- 高さ延長材は本体に1個ずつ付属されています。

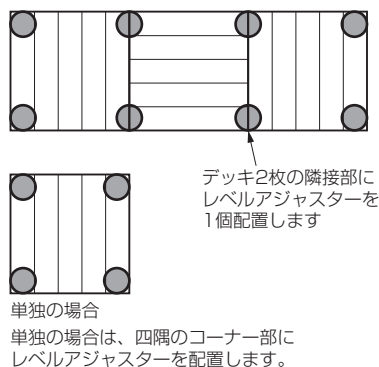


レベルアジャスター
について

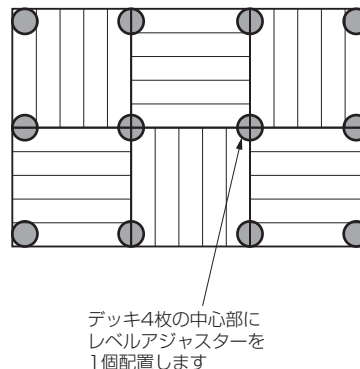
□ レベルアジャスターの配置確認

- デッキモジュールのレイアウトとレベルアジャスターの配置を確認してください。
- デッキモジュールは市松模様の配置がお奨めです。順列の配置に比べて、デッキの目地ズレなどが目立ちにくくなります。

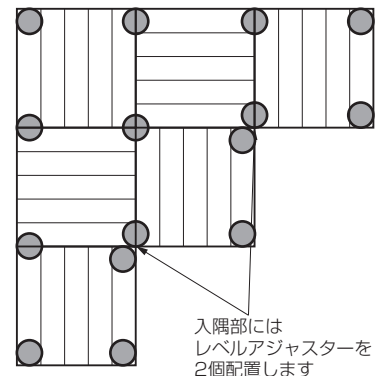
▼標準納まり(1列)▼



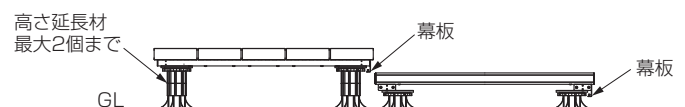
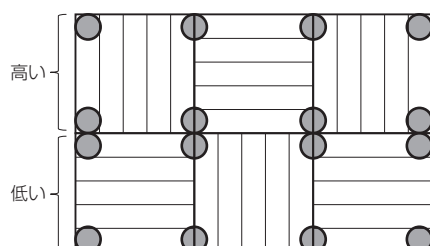
▼標準納まり(2列)▼



▼入隅納まり▼



▼段差納まり▼

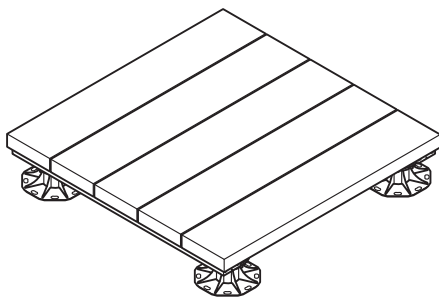


※高さの違うデッキモジュールの場合は、レベルアジャスターを
別々に配置してください。

デッキモジュール編

デッキモジュール

サイズ：幅895×奥895×高155～192



- デッキモジュールは市松模様の配置がお奨めです。順列の配置に比べて、デッキの目地ズレなどが目立ち難くなります。
- デッキモジュールを切り詰めた場合は、屋外用のシリコン系接着剤(推奨:セメダインスーパーX)で床板キャップを取付けてください。

床板キャップ		オプション
名 称	略 図	員 数
床板キャップ		2
床板キャップ穴開け治具 ※		1
φ4×16サラタツピンねじ1種 ※		8

※「床板キャップ穴開け治具」「φ4×16サラタツピンねじ1種」は使用しません。

1 梱包明細

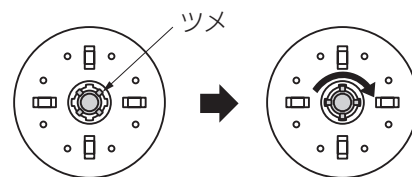
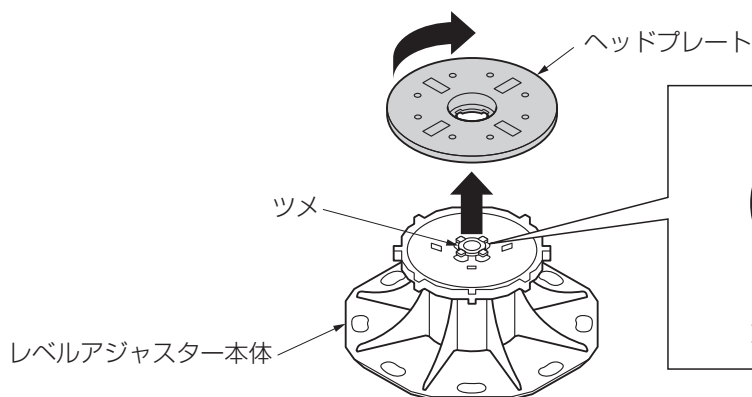
デッキモジュール		
名 称	略 図	員 数
デッキモジュール		1

幕板セット			
名 称	略 図	員 数	
		直線用	コーナー用
幕板(直線用)		1	1
幕板(コーナー用)		—	1
幕板端部プレート		2	3
φ4×10 特サラタツピンねじ3種		4	7

施工マニュアル		
名 称	員 数	
	外構業者用	DIY用
取付説明書(外構業者用)	1	—
取付説明書(DIY用)	—	1
取扱説明書	1	—

レベルアジャスターセット					
名 称	略 図	員 数			
		基準用	追加用	内角用	延長材
本体+ヘッドプレート		4	2	1	—
高さ延長材(+50mm)		4	2	1	4
デッキ連結金具(オス)		—	2	2	—
デッキ連結金具(メス)		—	2	2	—
M4×14 (+) ナベ小ねじ PW+SW		—	2	2	—
φ4×8(+)ナベタツピンねじ3種		8	8	8	—

- 最初にレベルアジャスターのヘッドプレートを取外してから、デッキモジュールの組み立てに進んでください。



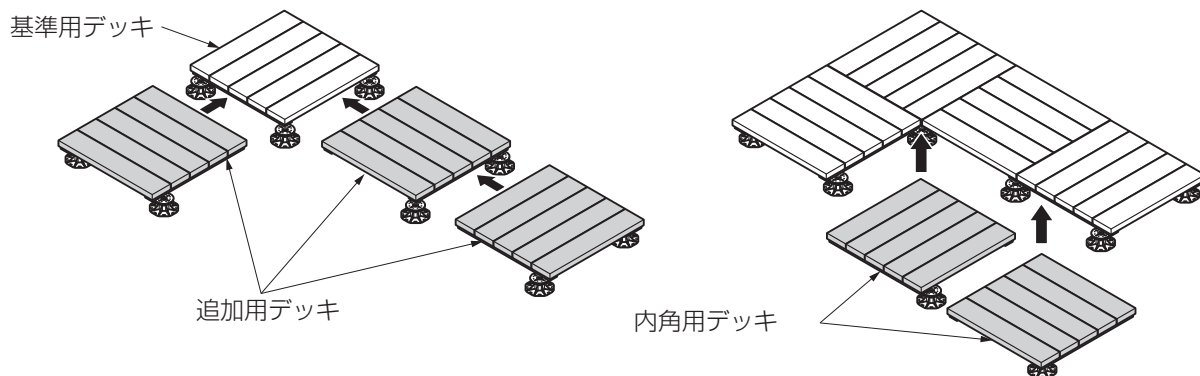
ツメ位置にあわせてヘッドプレートを取外してください。

2 施工前の準備

※デッキモジュール6枚を左奥から配置する場合は示します。
右奥から配置する場合は左右対称に作業してください。

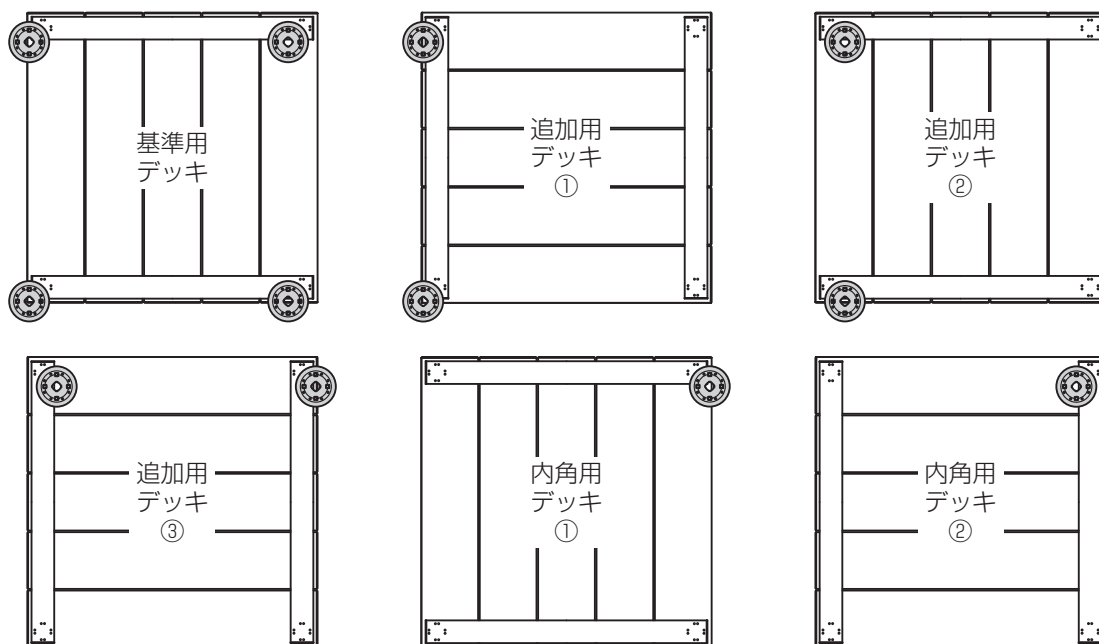
組立て手順の確認

- 基準用デッキ→ 追加用デッキ→ 内角用デッキの順番で設置していきます。
- 基準用デッキを水勾配の水上側にしておく、配置しながらレベルアジャスターの調整がしやすくなります。



ヘッドプレート取付位置の確認

- 下図はデッキモジュールを裏返した場合のヘッドプレート取付位置を示します。
- 基準用デッキ、追加用デッキ、内角用デッキ各々でヘッドプレートの取付位置が変わるため注意して取付けてください。

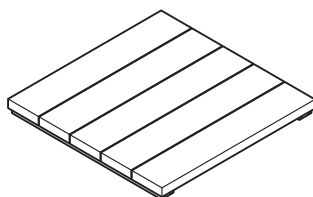


3 標準納まりの施工

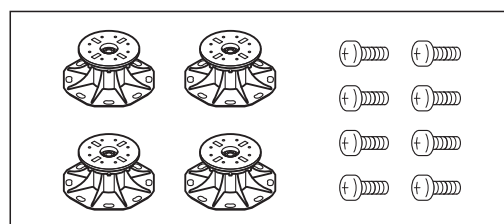
※デッキモジュール6枚を左奥から配置する場合は示します。
右奥から配置する場合は左右対称に作業してください。

基準用デッキの組み立てと配置

- ①デッキモジュールとレベルアジャスターセット(基準用)を用意



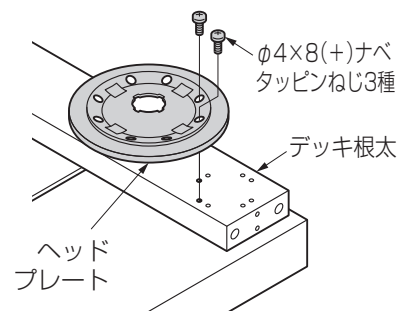
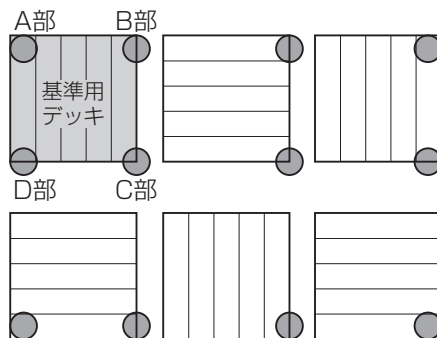
デッキモジュール



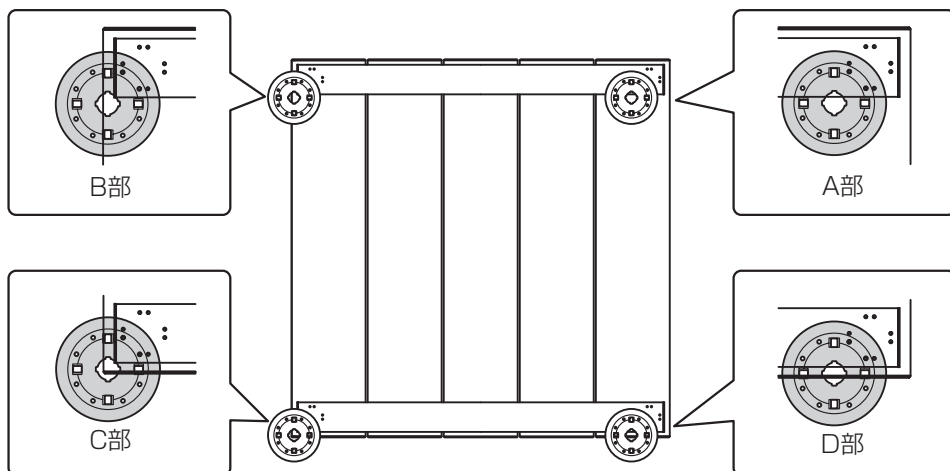
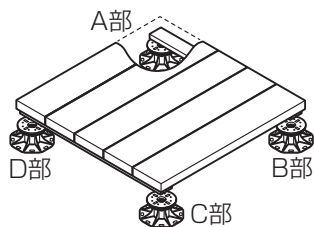
レベルアジャスターセット (基準用)

3 標準納まりの施工

- ②デッキモジュールを裏返して、ヘッドプレートデッキ根太の四隅にねじで取付け

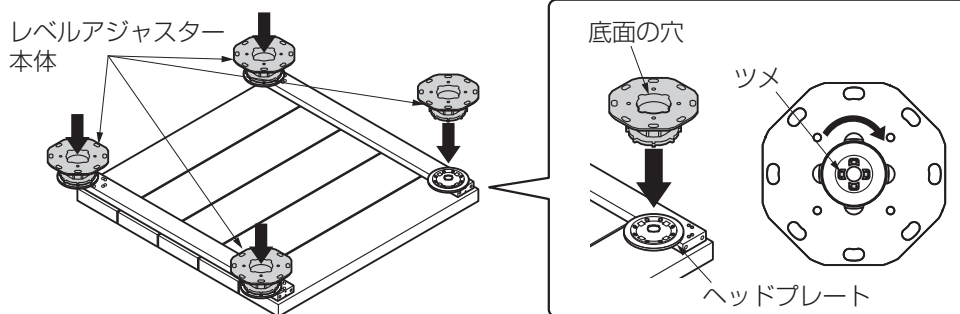


- 表向きにしたとき以下の図になるように、ヘッドプレートを取付けてください。



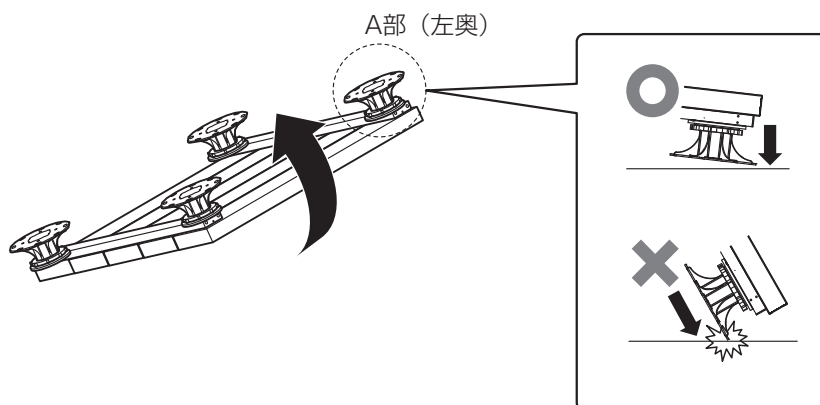
- ③ヘッドプレートにレベルアジャスター本体を嵌める

- レベルアジャスター本体底面の穴から本体のツメとヘッドプレートの切り欠き位置を確認して嵌めてください。



- ④A部が左奥側になるようにデッキモジュールを裏返す

- レベルアジャスター本体の先端へ側面から負荷がかからないようにゆっくり裏返してください。



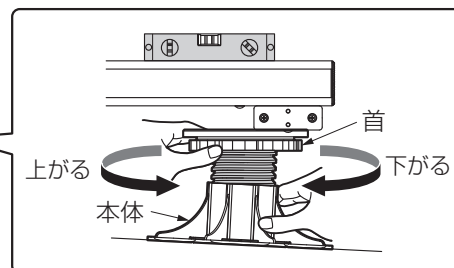
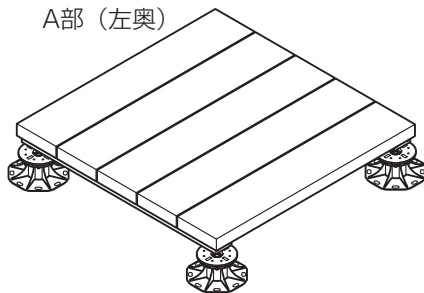
3 標準納まりの施工

- ⑤水準器をあてがい、レベルアジャスターの首を回しながら水平を出す

- デッキを配置した後、水平方向に引きずらないでください。レベルアジャスターの破損につながります。

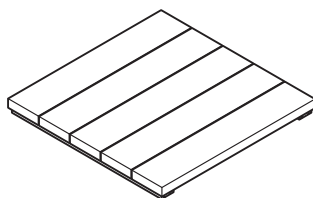


A部（左奥）

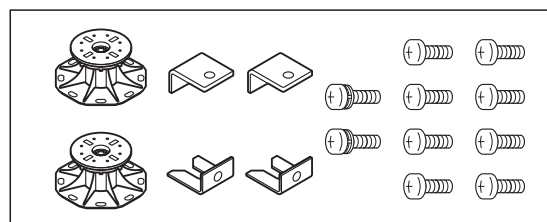


追加用デッキの組み立てと配置

- ①デッキモジュールとレベルアジャスターセット（追加用）を用意

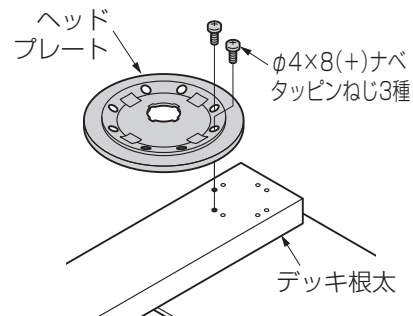
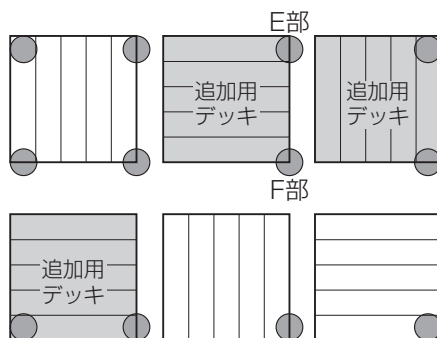


デッキモジュール

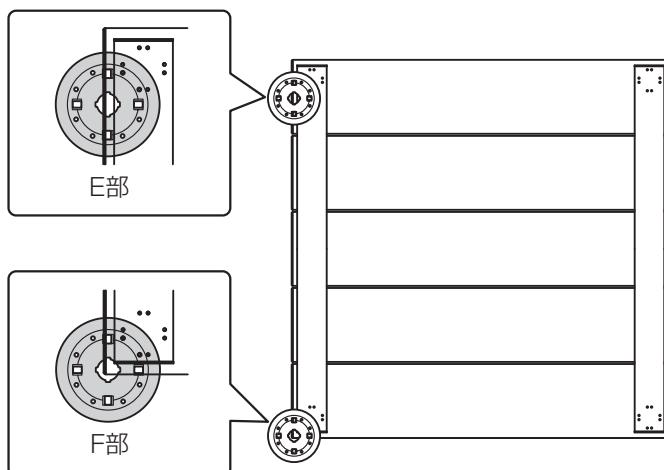
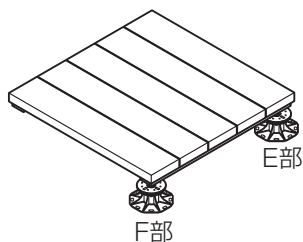


レベルアジャスターセット（追加用）

- ②デッキモジュールを裏返して、ヘッドプレートをデッキ根太の2箇所からねじで取付け



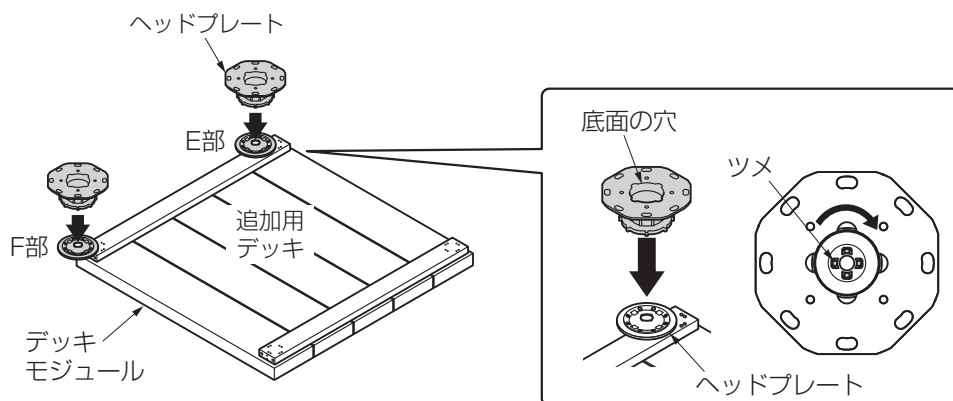
- E部、F部以外はP7「ヘッドプレート取付位置の確認」を参照して取付けください。
- 表向きにしたとき以下の図になるように、ヘッドプレートを取付けてください。



3 標準納まりの施工

- ③ヘッドプレートにレベルアジャスター本体を嵌める

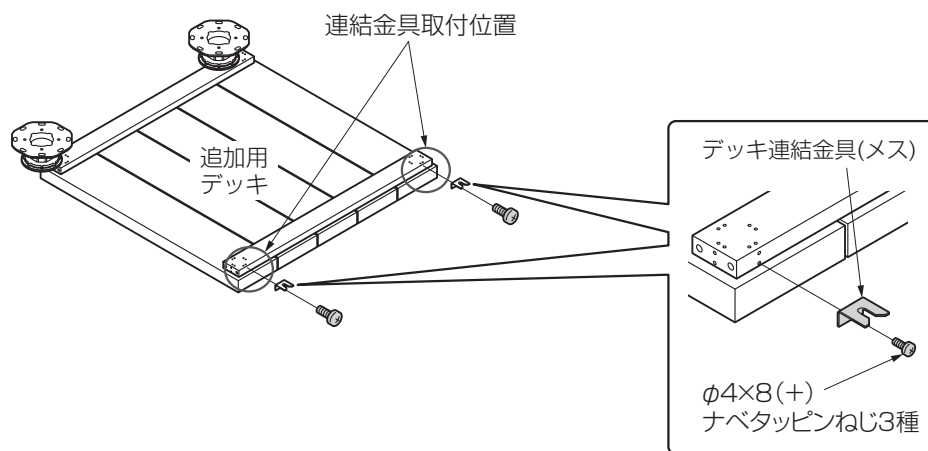
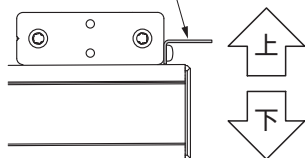
●レベルアジャスター本体底面の穴から本体のツメとヘッドプレートの切り欠き位置を確認して嵌めてください。



- ④追加用デッキにデッキ連結金具(メス)をねじで取付け

●デッキ連結金具(メス)は上下の方向を間違えないように注意して取付けてください。

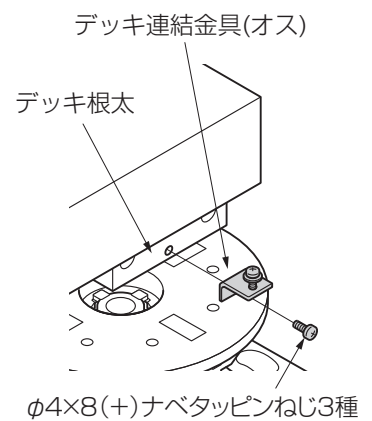
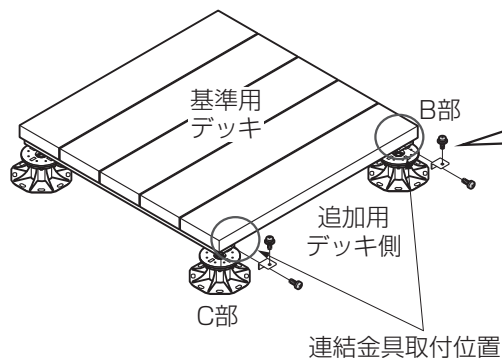
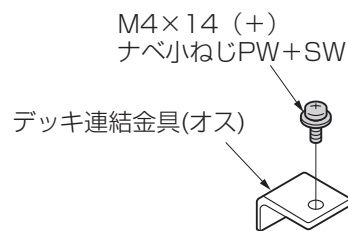
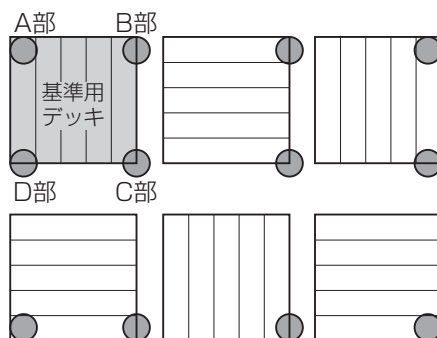
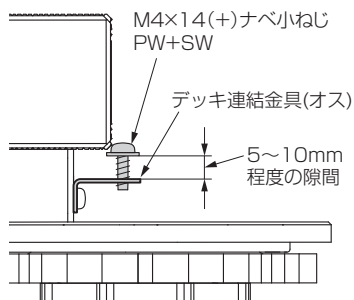
デッキ連結金具(メス)



- ⑤デッキ連結金具(オス)にM4×14 (+)ナベ小ねじ座金組込PW+SWを組付け

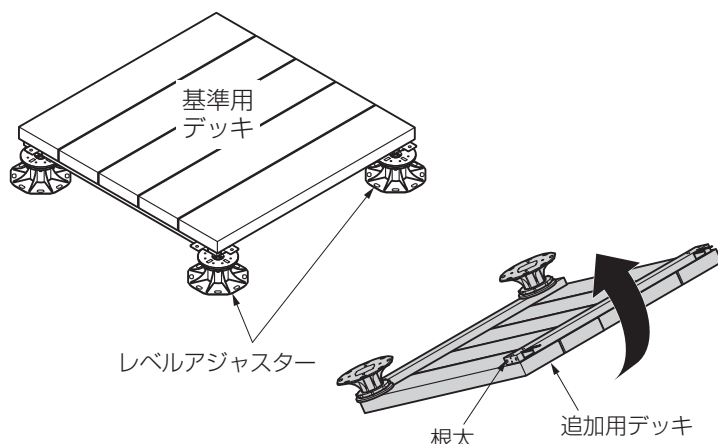
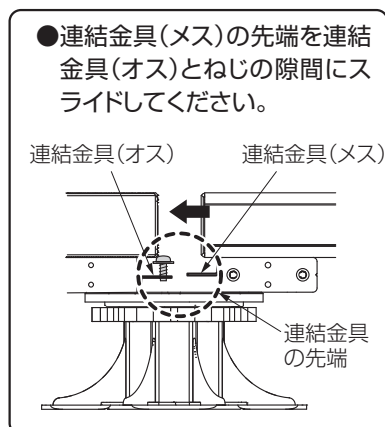
- ⑥基準用デッキ根太にデッキ連結金具(オス)をねじで取付け

●M4×14 (+)ナベ小ねじPW+SWは完全に締め込まずにワッシャー下の隙間を5～10mm程度あけてください。

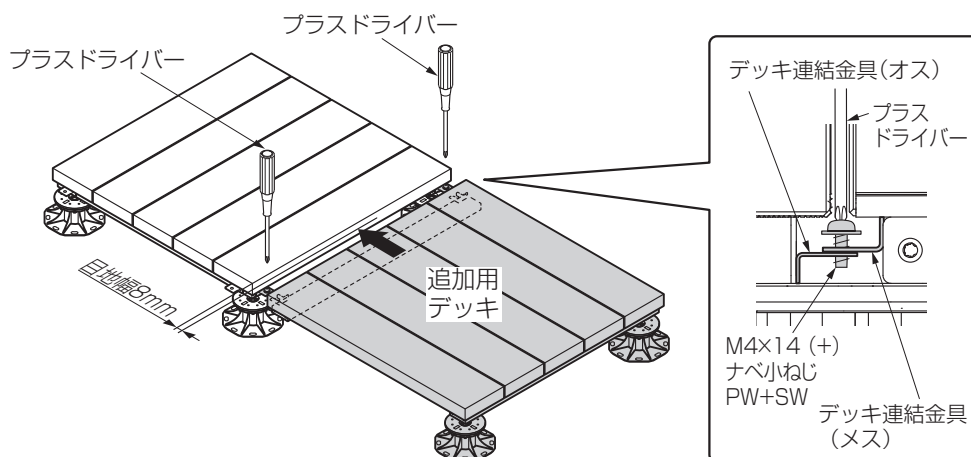


3 標準納まりの施工

- ⑦追加用デッキを起こして、基準用デッキ側のレベルアジャスターに根太部分を乗せる

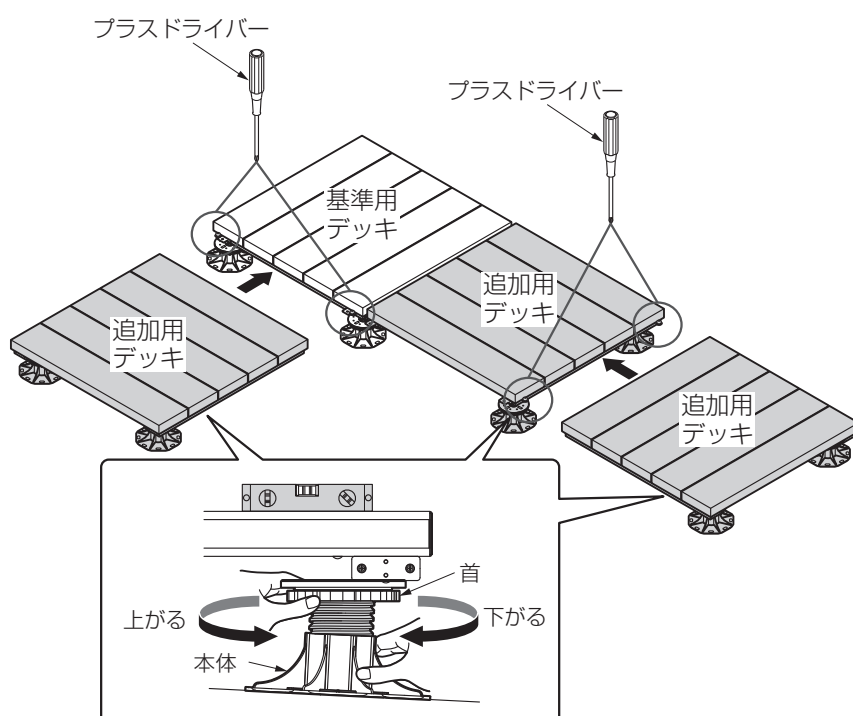
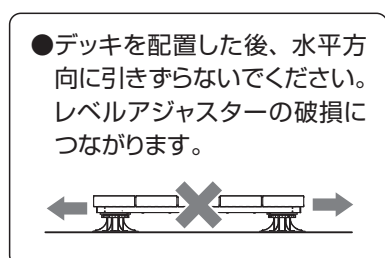


- ⑧プラスドライバーでM4×14(+)
ナベ小ねじPW+SWを締め込んでデッキ同士を連結



- ⑨残りの追加用デッキも同様の手順で配置し、プラスドライバーでデッキ同士を連結

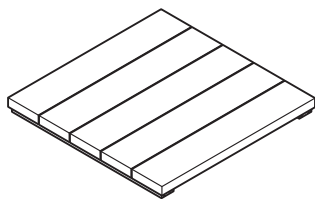
- ⑩水準器をあてがい、レベルアジャスターの首を回しながら水平を出す



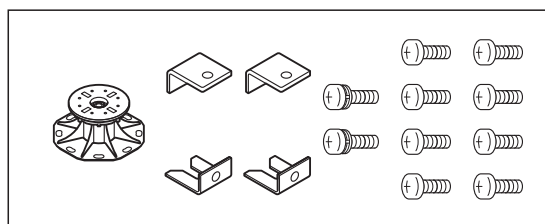
3 標準納まりの施工

内角用デッキの組み立てと配置

- ①デッキモジュールとレベルアジャスターセット(内角用)を用意

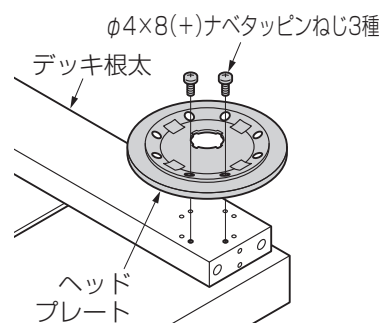
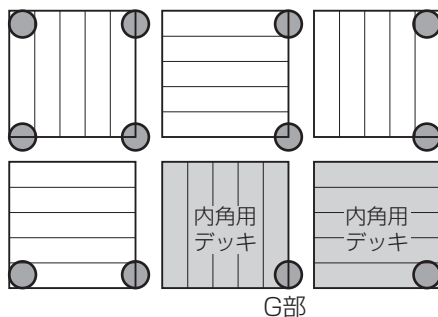


デッキモジュール

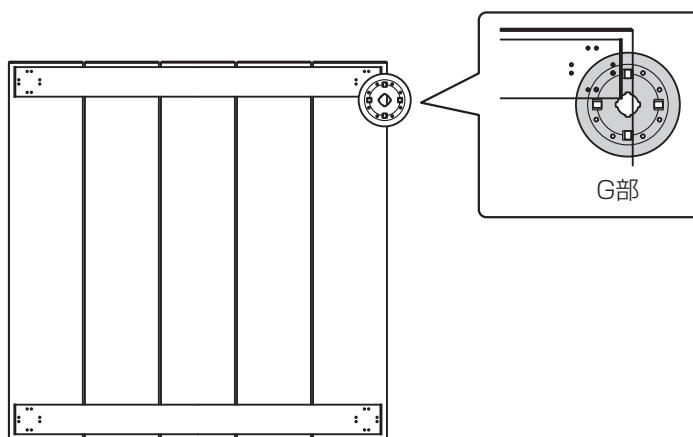
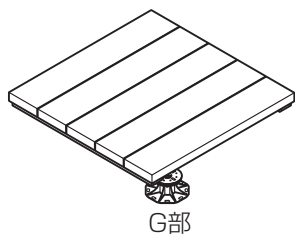


レベルアジャスターセット (内角用)

- ②デッキモジュールを裏返して、ヘッドプレートをデッキ根太の1箇所からねじで取付け

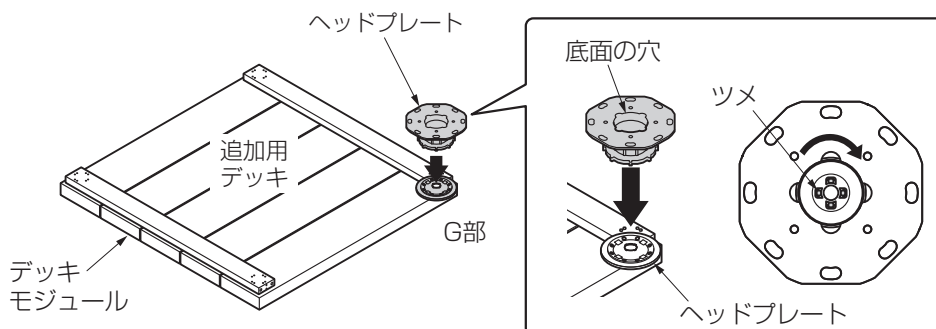


- G部以外はP7「ヘッドプレート取付位置の確認」を参照して取付けてください。
- 表向きにしたとき以下の図になるように、ヘッドプレートを取付けてください。



- ③ヘッドプレートにレベルアジャスター本体を嵌める

- レベルアジャスター本体底面の穴から本体のツメとヘッドプレートの切り欠き位置を確認して嵌めてください。

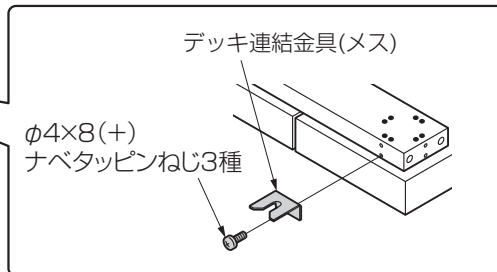
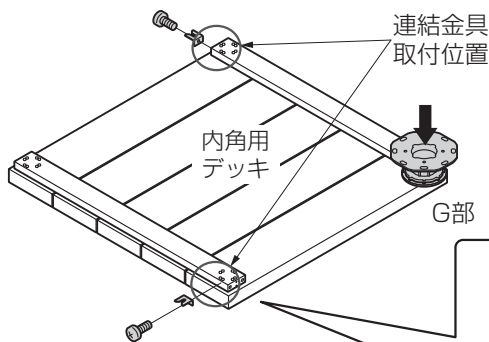
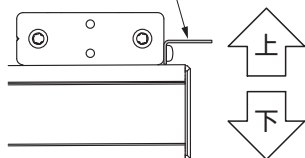


3 標準納まりの施工

- ④内角用デッキにデッキ連結金具(メス)を取付け

- デッキ連結金具(メス)は上下の方向を間違えないように注意して取付けてください。

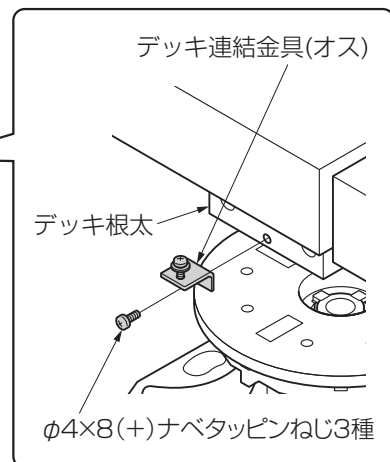
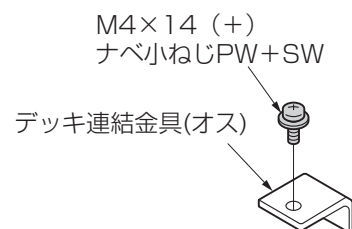
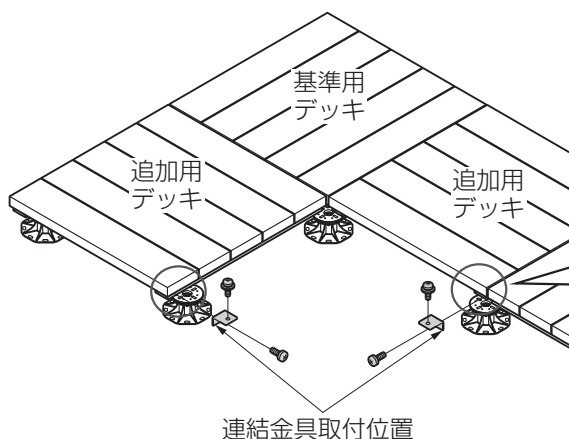
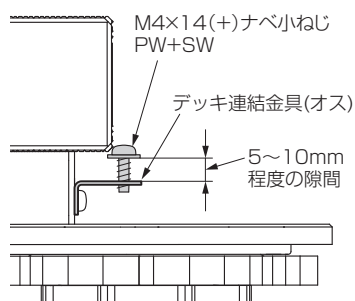
デッキ連結金具(メス)



- ⑤デッキ連結金具(オス)にM4×14 (+)ナベ小ねじ座金組込PW+SWを組み付け

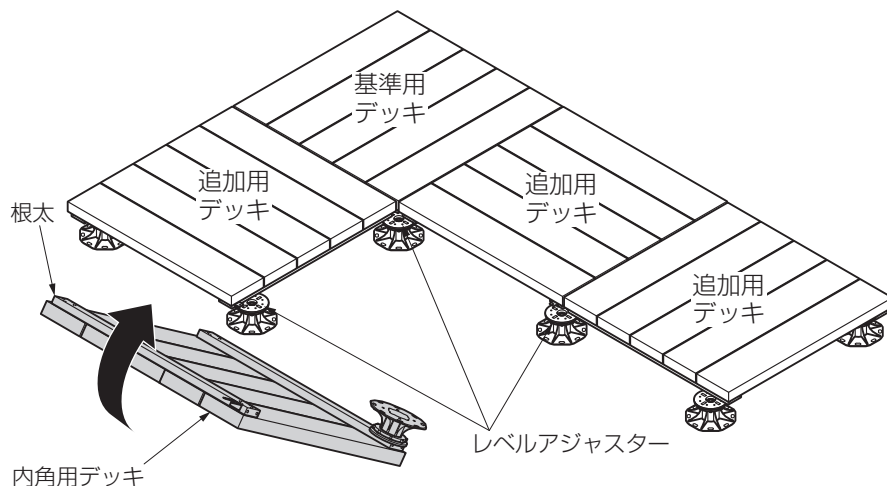
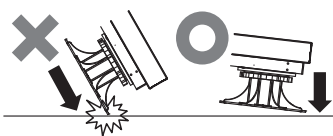
- ⑥追加用デッキ根太にデッキ連結金具(オス)をねじで取付け

- M4×14 (+)ナベ小ねじPW+SWは完全に締め込まずにワッシャー下の隙間を5～10mm程度あけてください。



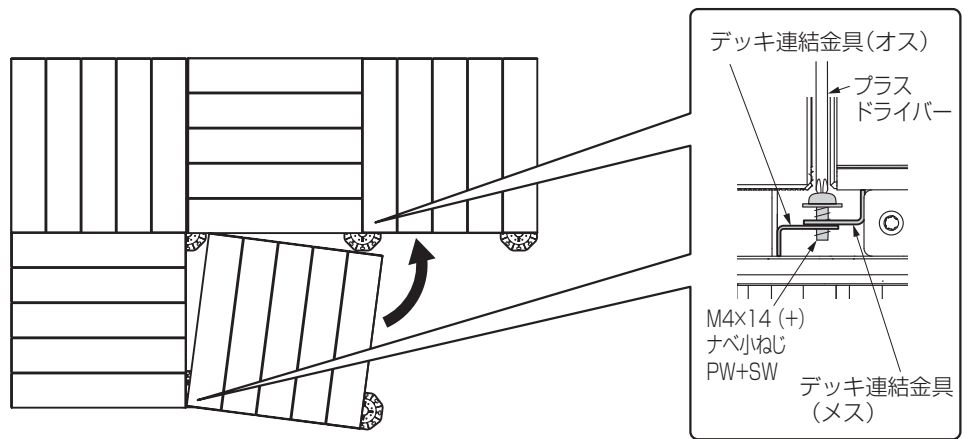
- ⑦内角用デッキを起こして、追加用デッキ側のレベルアジャスターに根太部分を乗せる

- レベルアジャスター本体へ側面から負荷がかからないようにゆっくり裏返してください。



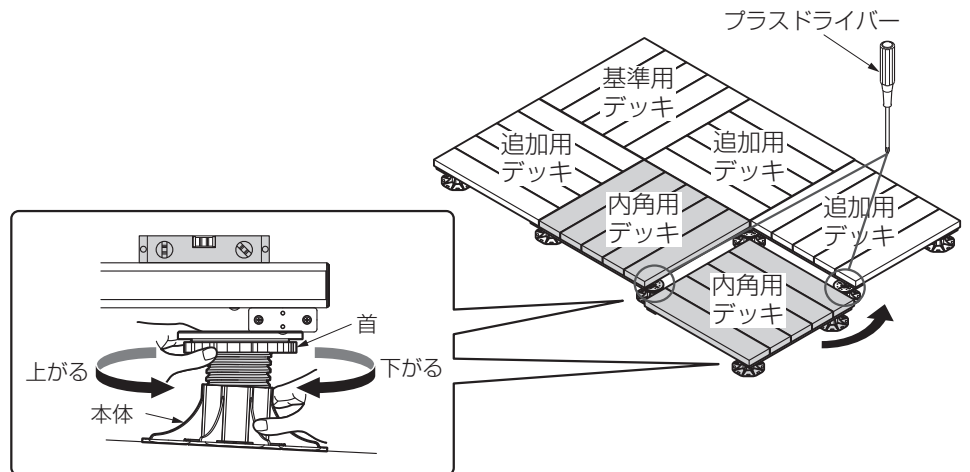
3 標準納まりの施工

- ⑧ プラスドライバーでM4×14(+)
ナベ小ねじPW+SWを締め込ん
でデッキ同士を連結



- ⑨ 残りの内角用デッキも同様の手
順で配置し、プラスドライバーで
デッキ同士を連結
- ⑩ 水準器をあてがい、レベルアジャ
スターの首を回しながら水平を
出す

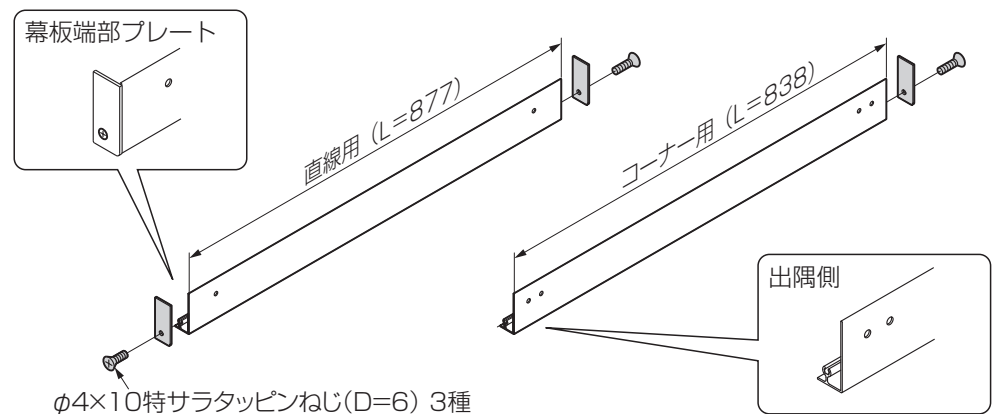
●デッキを配置した後、水平方
向に引きずらないでください。
レベルアジャスターの破損に
つながります。



4 幕板の取付け

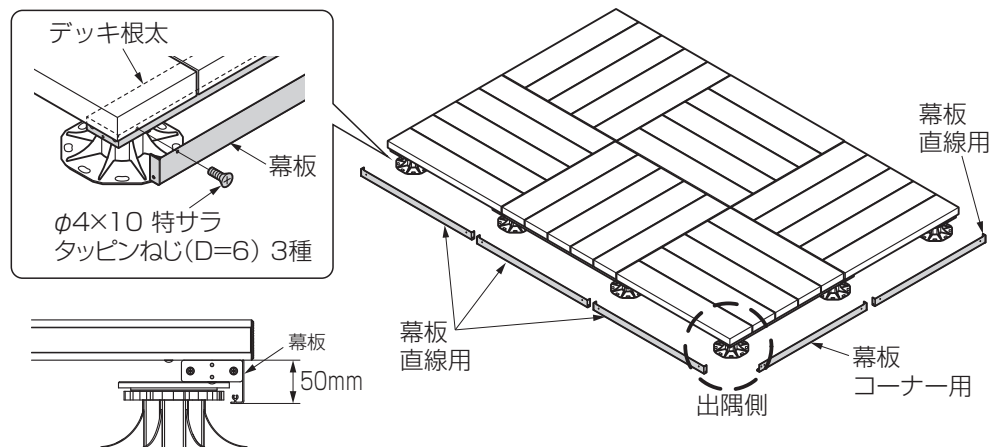
- ① 幕板(直線用)の両側に幕板端部
プレートをねじで取付け
- ② 幕板(コーナー用)は片側にのみ
幕板端部プレートをねじで取付け

●幕板(コーナー用)の出隅
側には幕板端部プレートを取
付けしないでください。



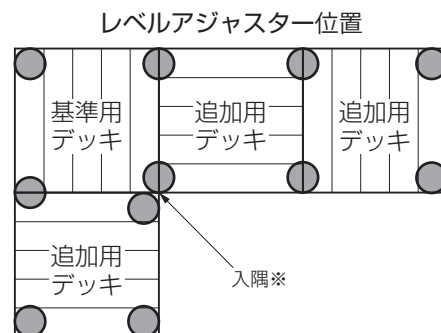
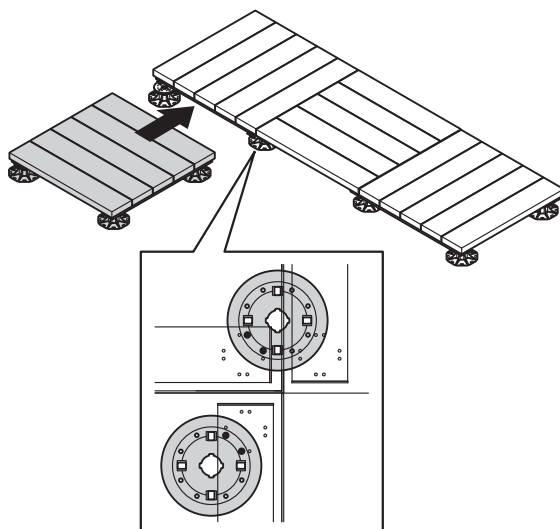
- ③ 幕板(直線用)を取付けた後に、幕
板(コーナー用)の取付け

●幕板はデッキ根太の下穴位
置に合わせてねじで取付け
てください。



5 入隅納まりの施工

※標準納まりとレベルアジャスターの配置が異なりますので
注意して施工してください。

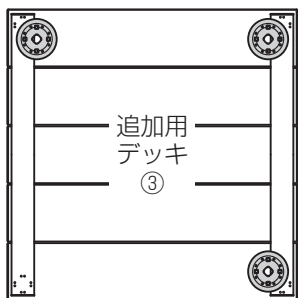
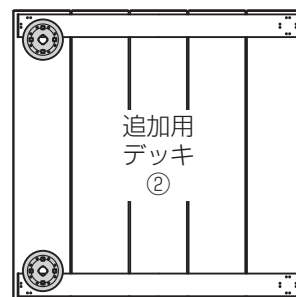
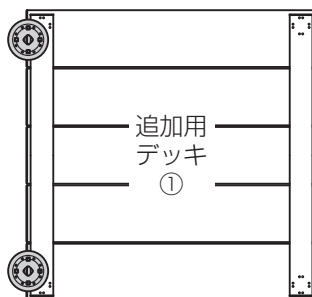
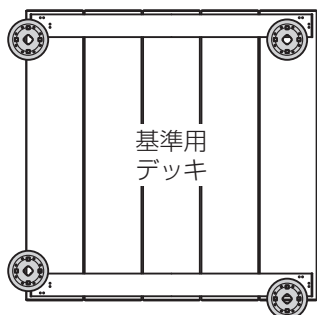


※入隅部にはレベルアジャスターが2個必要です。
左図のように干渉しないよう取付け位置を確認
してから施工してください。

デッキ
モジュール

□ ヘッドプレート取付位置の確認

- 下図はデッキモジュールを裏返した場合のヘッドプレート取付位置を示します。
- 基準用デッキ、追加用デッキでヘッドプレートの取付位置が変わるため注意して取付けてください。



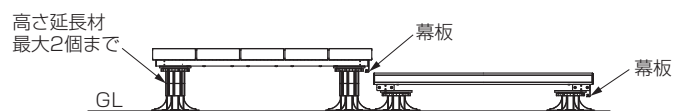
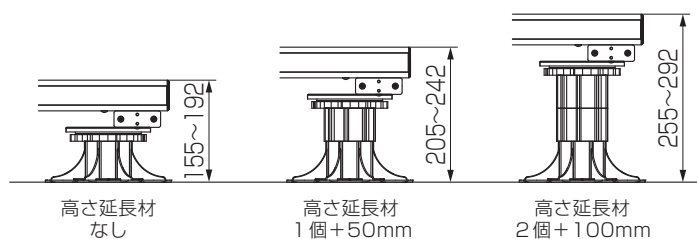
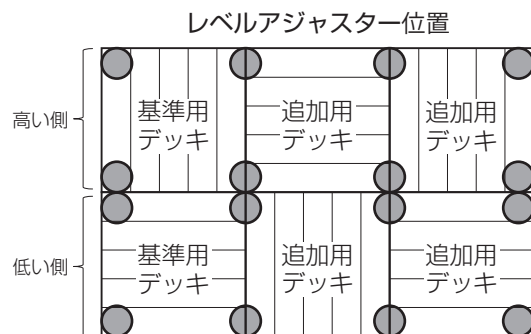
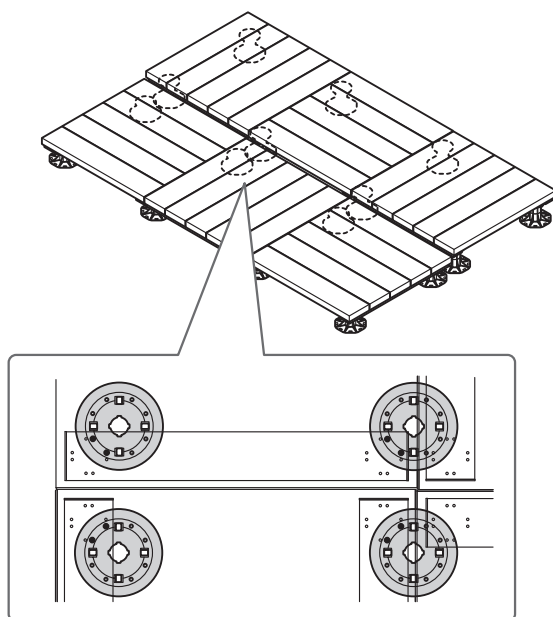
- 施工手順を確認したい場合は、
施工動画をご確認ください。



入隅納まり
/施工動画

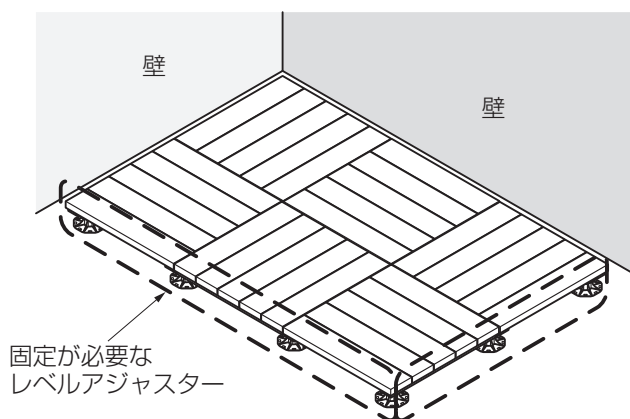
6 段差納まりの施工

※標準納まりとレベルアジャスターの配置が異なりますので注意して施工してください。



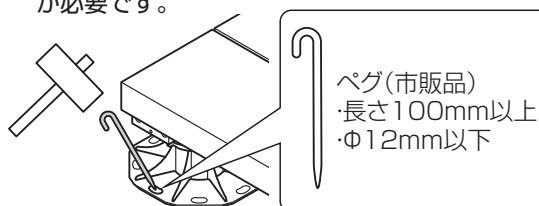
※高さの違うデッキモジュールの場合は、レベルアジャスターを別々に配置してください。

7 レベルアジャスターの固定



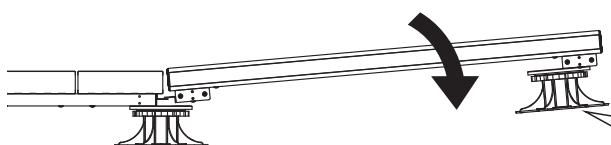
土や芝の場合

- レベルアジャスター本体の手前側の穴にペグを斜めから打ち込んでください。
- ※レベルアジャスター 1個につき1本のペグが必要です。

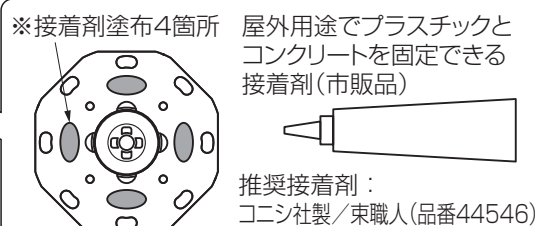


コンクリートの場合

- レベルアジャスターの裏側に屋外用途で使える接着剤(市販品)を塗布し固定してください。
- 接着剤を塗布した後はレベルアジャスターを引きずらないように注意して、ゆっくりと地面に置いてください。

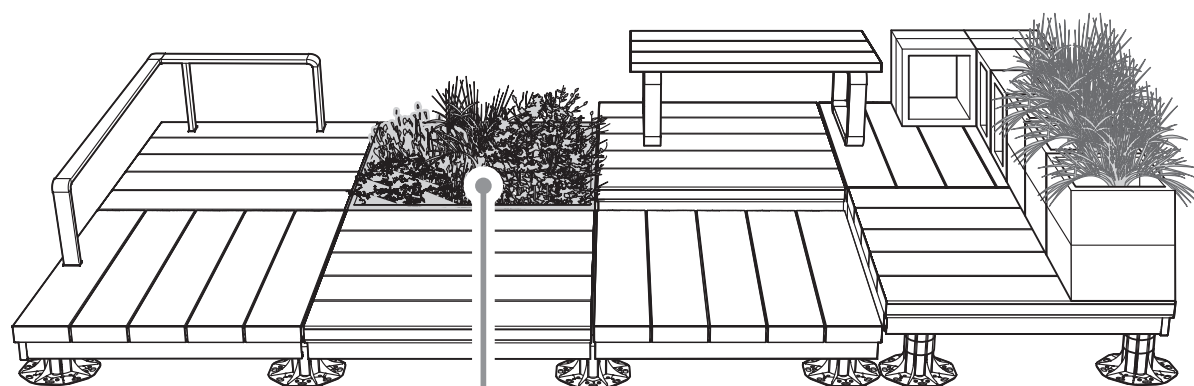


※接着剤の代わりにコンクリート面用の両面テープを使って固定することも可能です。
推奨：3M社製／粗面用両面テープ(品番KPR-19R)



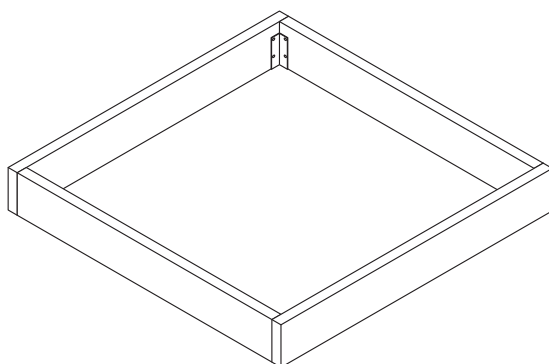
フレームモジュール編

●構成図



フレームモジュール

サイズ：幅900×奥行450×高145



- フレームモジュールには高さ調整機能はありません。できるだけ平らな場所に設置してください。地面に凹凸がある場合は屋外用スペーサー(市販品)を使って調整してください。
- フレームモジュールを切り詰めた場合は、屋外用のシリコン系接着剤(推奨:セメダインスーパーX)でフレーム用キャップを取付けてください。

フレーム
モジュール

フレーム/ベンチ用キャップ		オプション
名 称	略 図	員 数
フレーム/ベンチ用キャップ		4

1 梱包明細

フレームモジュールセット		
名 称	略 図	員 数
フレーム材A		2
フレーム材B		2

施工マニュアル		
名 称	員 数	
	外構業者用	DIY用
取付説明書(外構業者用)	1	—
取付説明書(DIY用)	—	1
取扱説明書	1	—

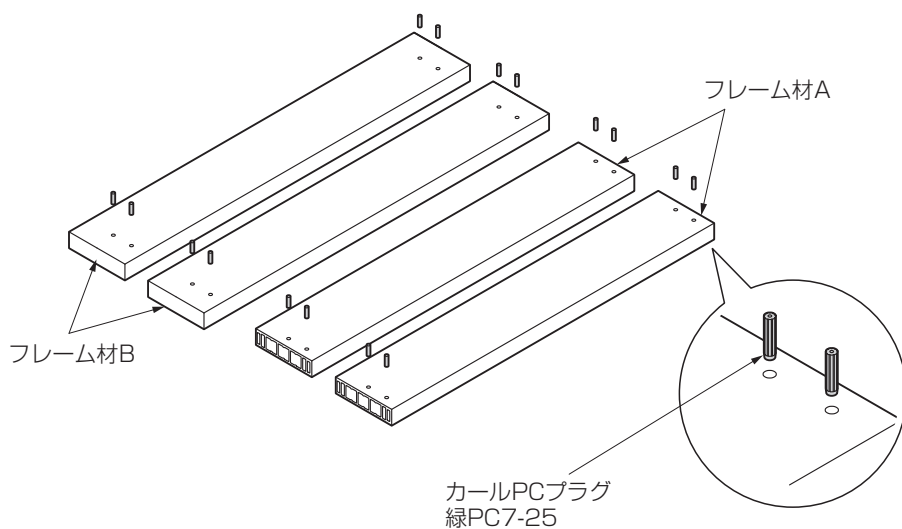
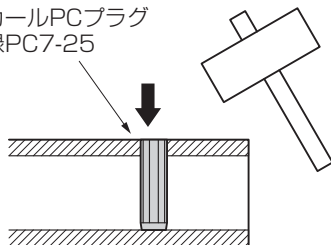
フレームモジュールセット		
名 称	略 図	員 数
フレーム用コーナー金具		4
カールPCプラグ緑PC7-25		16
φ4×12(+薄平タッピンねじ 1種		16

2 フレームモジュールの組立て

- ①フレーム材4枚の両端部にカー
ルPCプラグ緑PC7-25を取付け

●ハンマーなどを使って樹脂ブ
ラグがデッキ材と平らになるま
で叩き込んでください。

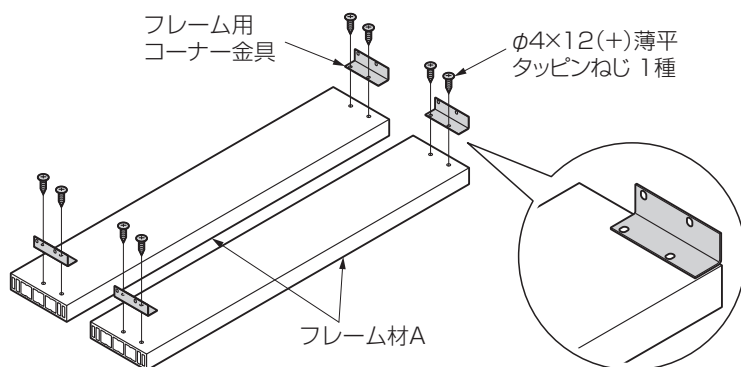
カールPCプラグ
緑PC7-25



- ②フレーム材Aの両端部にフレーム
用コーナー金具をねじで取付け

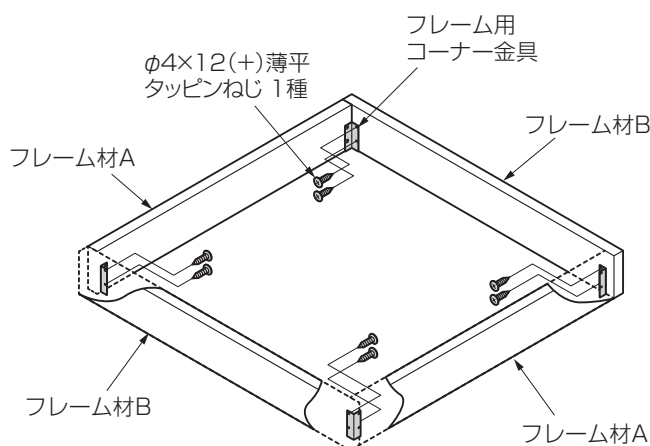
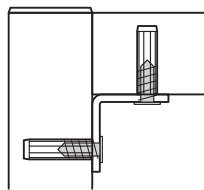
フレーム用
コーナー金具

φ4×12(+)
薄平
タッピンねじ 1種



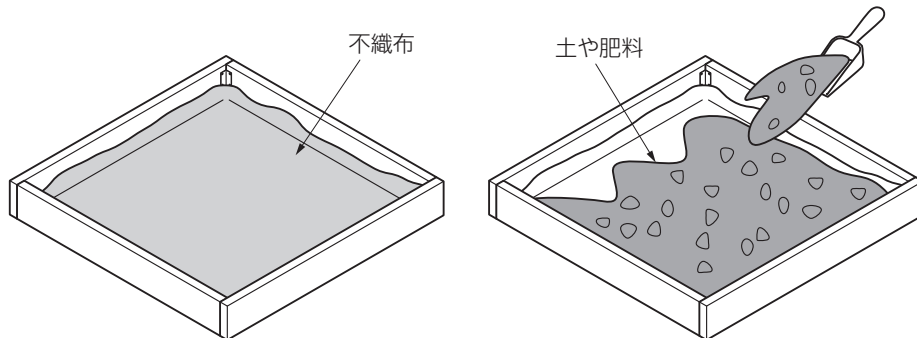
- ③フレーム材を枠状に配置してフ
レーム用コーナー金具とフレーム
材Bをねじで取付け

●コーナーが直角になるように
調整しながらねじを固定してく
ださい。



- ④フレームの内側に不織布(市販品)
を敷き、土や肥料をいれる

●不織布(市販品)および土や肥
料は育てる植物にあわせて、
お施主様ご自身で入れてくだ
さい。

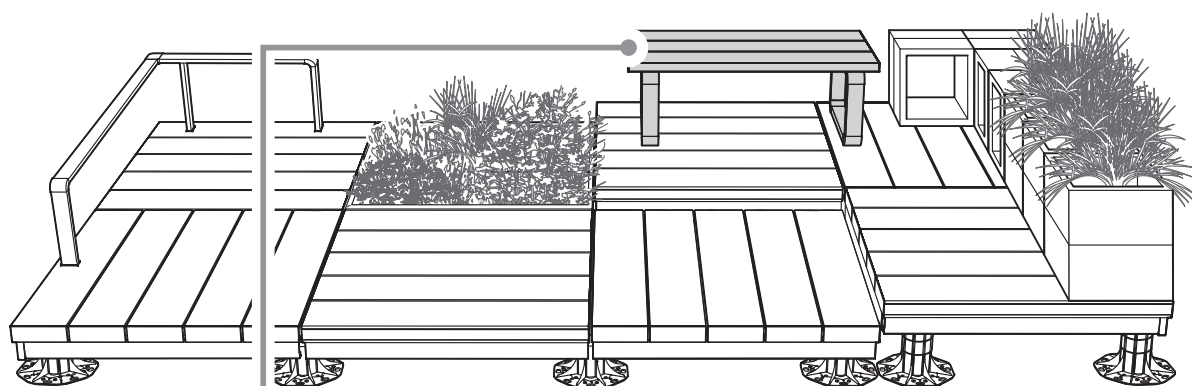


フレームモジュールの内側へ不織布
(市販品)を敷いてください。

植える植物に合わせて、土や肥料を
フレーム内に入れてください。

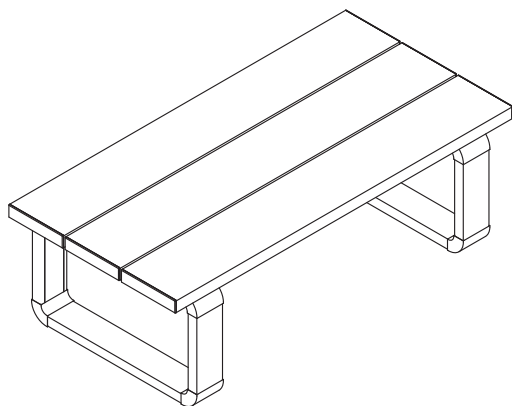
ベンチモジュール編

●構成図



ベンチモジュール

サイズ：幅900×奥行445×高290



- ベンチモジュールには高さ調整機能はありません。できるだけ平らな場所に設置してください
- ベンチモジュールを切り詰めた場合は、屋外用のシリコン系接着剤(推奨:セメダインスーパーX)でベンチ用キャップを取付けてください。

フレーム/ベンチ用キャップ		オプション
名 称	略 図	員 数
フレーム/ベンチ用キャップ		4

モジュール
ベンチ

1 梱包明細

座面セット		
名 称	略 図	員 数
ベンチ座面		3
ベンチ座面用補強材		1

施工マニュアル		
名 称	員 数	
	外構業者用	DIY用
取付説明書(外構業者用)	1	—
取付説明書(DIY用)	—	1
取扱説明書	1	—

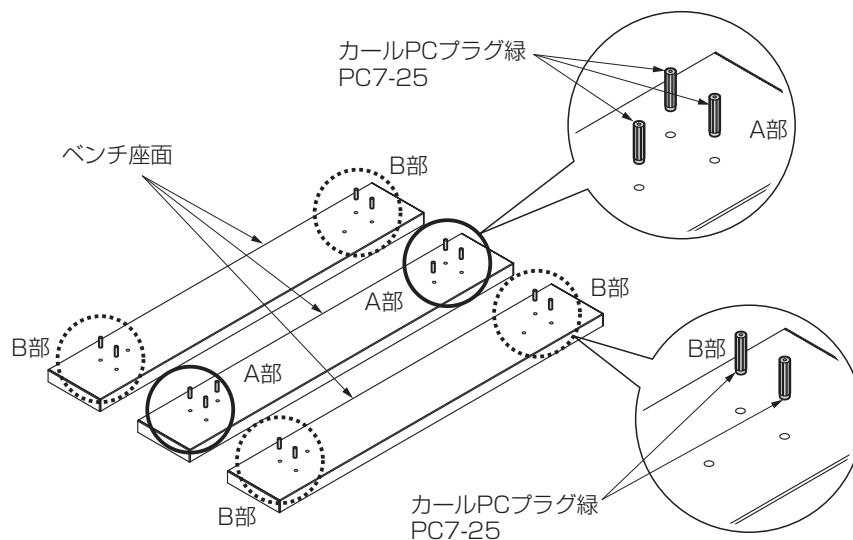
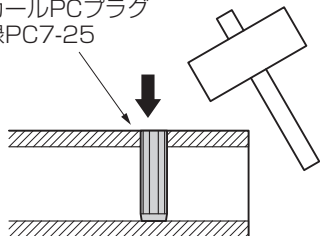
脚ユニット		
名 称	略 図	員 数
ベンチ脚ユニット		2
カールPCプラグ緑 PC7-25		14
φ4×40(+)+トラスタッピンねじ 1種		14

2 ベンチモジュールの組立て

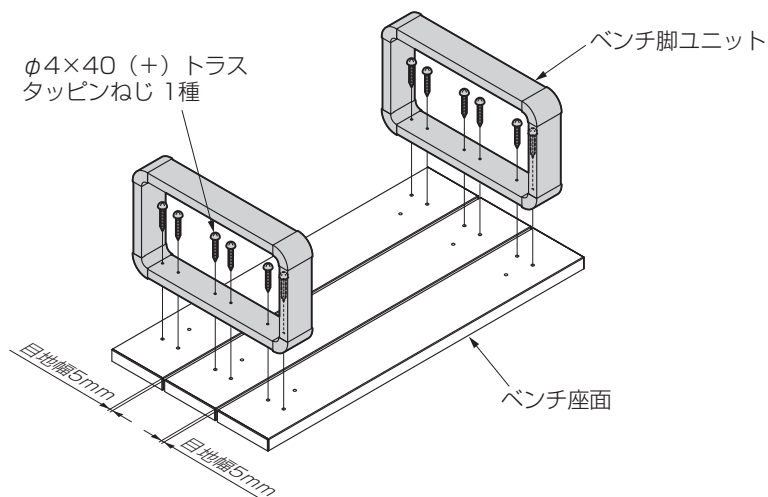
- ①ベンチ座面を3枚並べて、A部、B部にカールPCプラグ緑PC7-25を取付け

●ハンマーなどを使って樹脂プラグがデッキ材と平らになるまで叩き込んでください。

カールPCプラグ
緑PC7-25

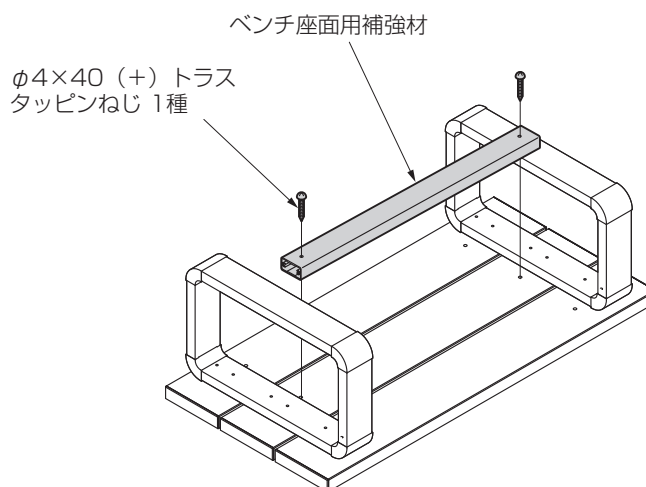
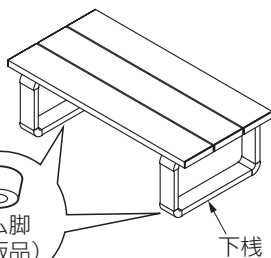


- ②ベンチ座面に脚ユニットをねじで取付け



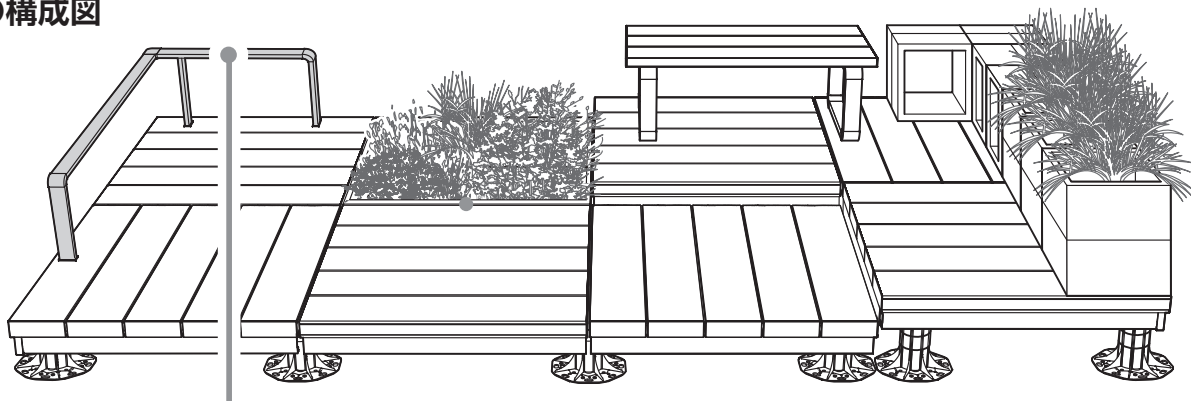
- ③中央のベンチ材にベンチ用補強材をねじで取付け

●コンクリートの上などデッキ以外で使用する場合はキズが付かないよう下枠にゴム脚(市販品)などを取付けてください。



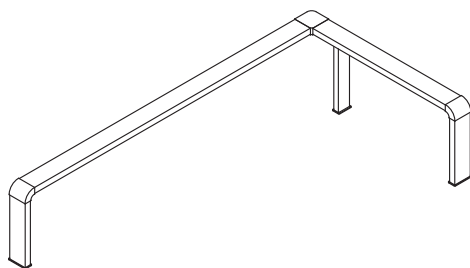
レールモジュール編

●構成図



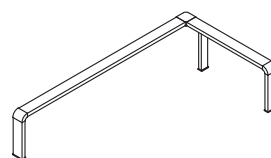
レールモジュール

サイズ：幅1338×奥行702.5×高290

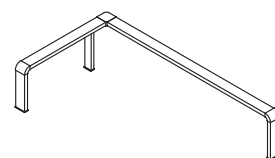


●レールモジュールに間接照明を取付ける場合は、別紙EXM235「モジュールガーデンDC12V照明用取付説明書」を参照してください。

●レールモジュールは左右に組み変えが可能です。デッキのレイアウトに合わせて向きを選んでください。



左向き



右向き

1 梱包明細

レール材セット		
名 称	略 図	員 数
端部柱		2
中間柱		1
レール材A		1
レール材B		1
レール材カバーA		1
レール材カバーB		1

レール部品セット		
名 称	略 図	員 数
継手ベース		2
継手カバー		2

レール部品セット		
名 称	略 図	員 数
連結継手(L字用)		1
中間柱取付金具		1
中間柱取付裏板		1
端部柱用ステー		2
中間柱用ステー		1
φ5×12(+)トラス小ねじ		12
φ5×14 (+)ナベタッピンねじ1種		4
φ5×12(+)特サラタッピンねじ1種		8
M5×10 (+)サラ小ねじ		2
M8×60 (+)ナベ小ねじ		3
M8 平座金		3
M8 セリート付フランジナット		3

施工マニュアル		
名 称	員 数	
	外構業者用	DIY用
取付説明書(外構業者用)	1	—
取付説明書(DIY用)	—	1
取扱説明書	1	—

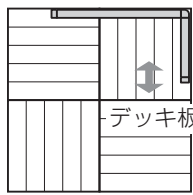
モジュール

2 レールモジュールの組立て

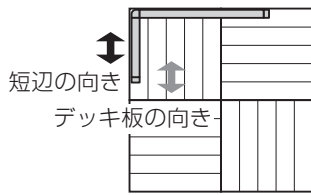
※本図は左向きに組立てた場合を示します。
右向きの場合は左右対称に作業をしてください。

- レールモジュールの短辺が必ずデッキの向きと並行になるよう設置してください。

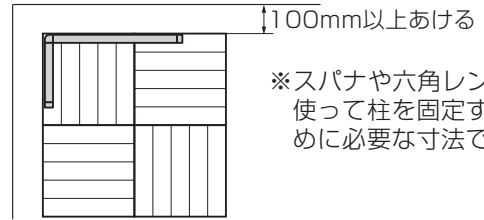
- 壁際へレールモジュールを設置する場合、壁から100mm以上あけてください。



左向きの場合



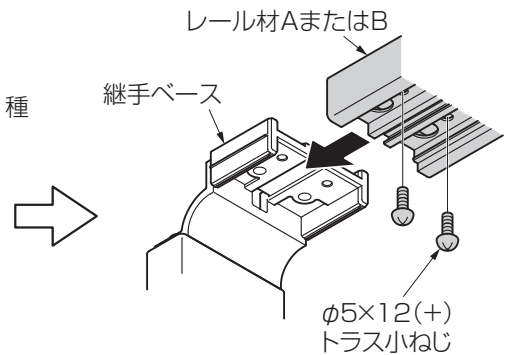
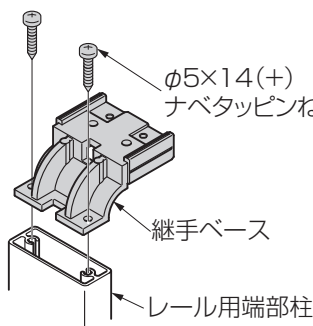
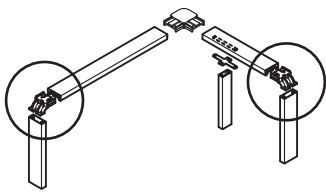
右向きの場合



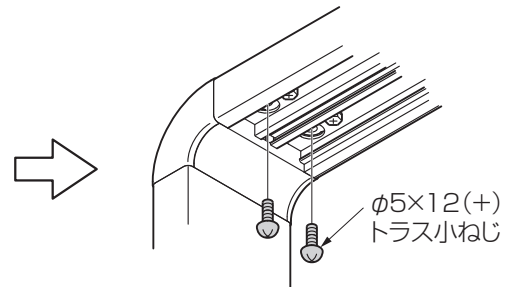
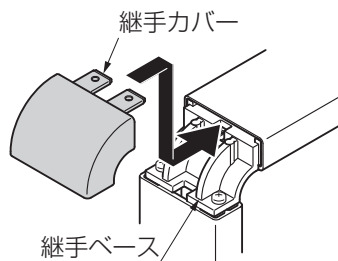
※スパナや六角レンチを使って柱を固定するために必要な寸法です。

□ レール材の組み立て

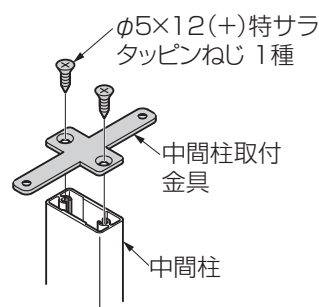
- ①継手ベースに端部柱とレール材AまたはBをねじで取付け



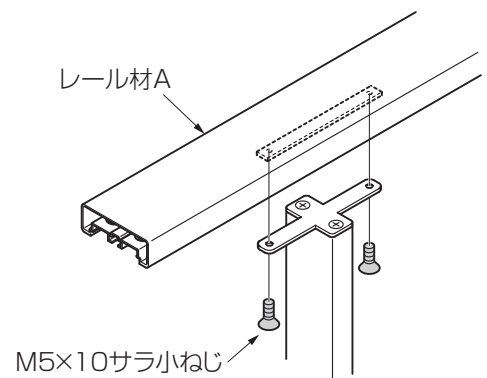
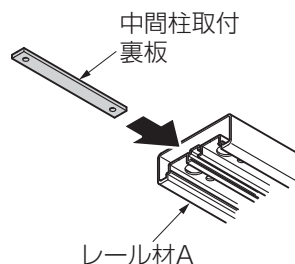
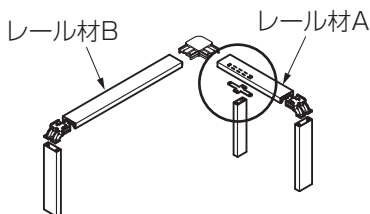
- ②両端の継手ベースに継手カバーを被せて、下側からねじで取付け



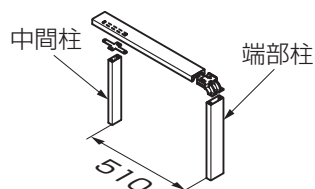
- ③中間柱に中間柱取付金具をねじで取付け



- ④中間柱取付裏板をレール材Aへ通して、中間柱取付金具をねじで取付け

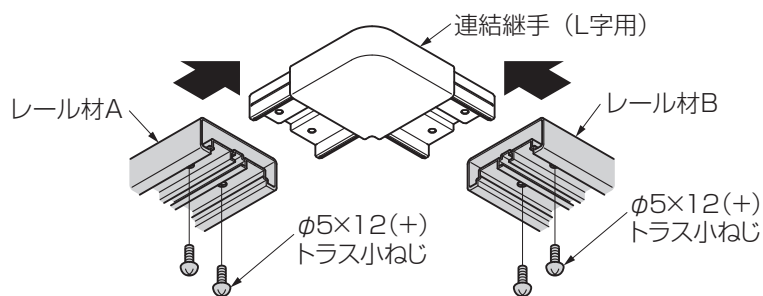
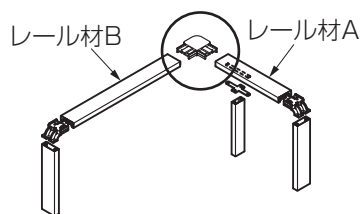


- 端部柱と中間柱間の内々寸法が510mmになるように固定してください。

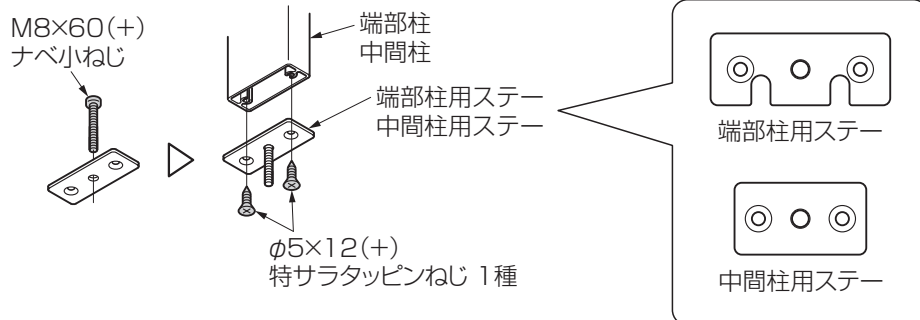
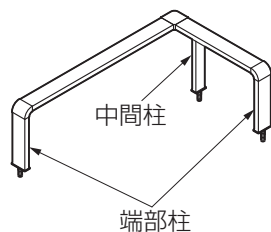


2 レールモジュールの組立て

⑤連結継手(L字用)にレール材Aとレール材Bを通してねじで取付け



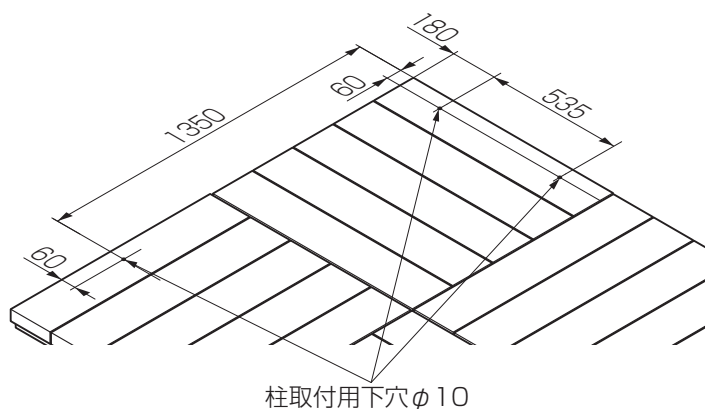
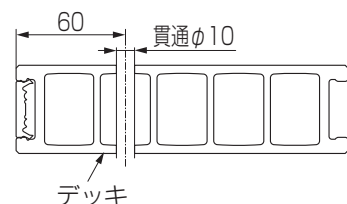
⑥端部柱用ステー、中間柱用ステーにM8×60(+)ナベ小ねじを締め込んで、柱下側からねじで取付け



3 デッキモジュールへの取り付け

①柱取付用下穴φ10を3ヶ所に加工

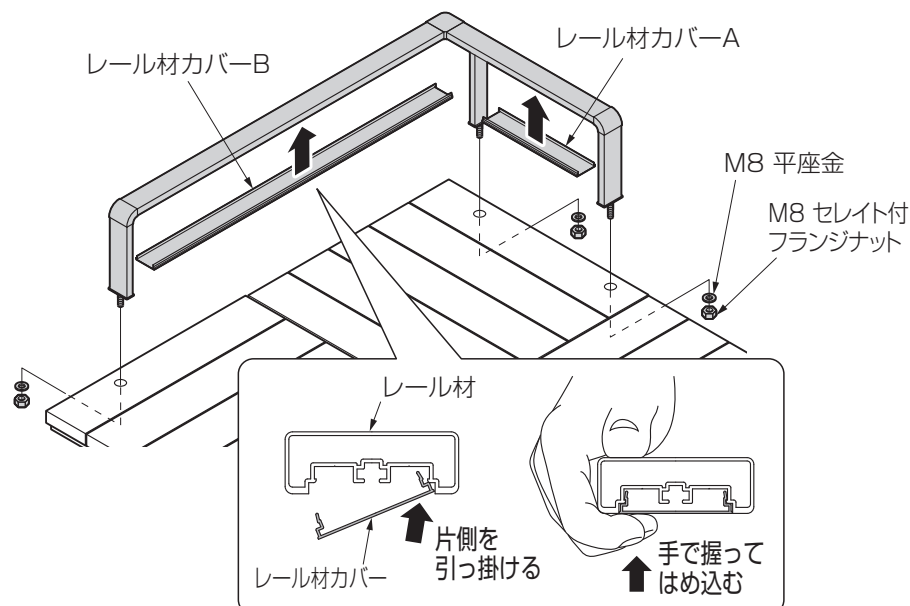
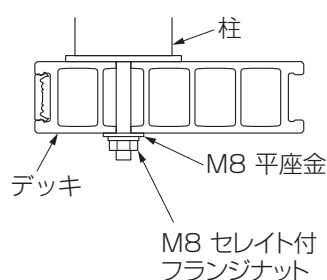
●下穴φ10はデッキモジュールを貫通して穴をあけてください。



②デッキモジュールの下穴に各柱下側のねじを差込み、平座金とナットで固定

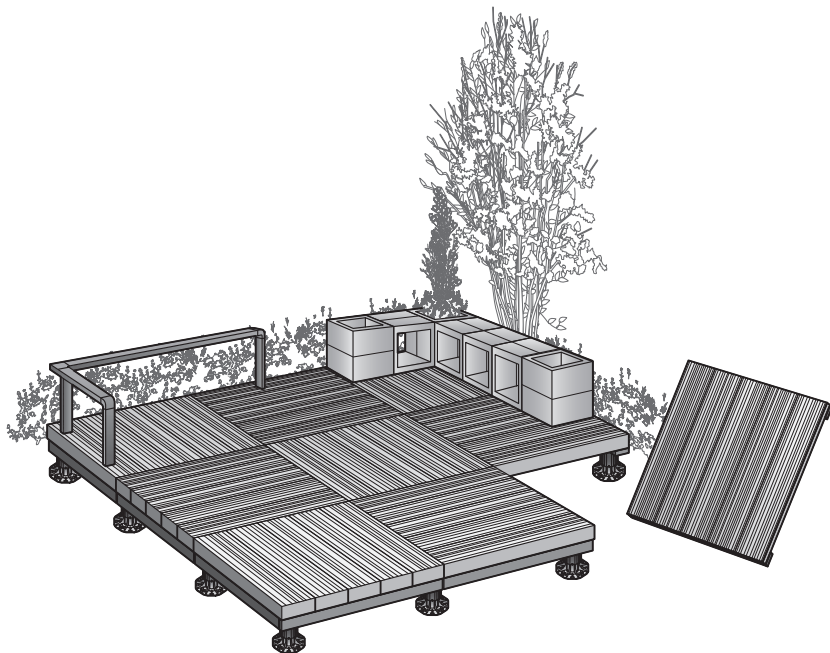
③レールの下側から各レール材カバーを取付け

●デッキの下側から六角レンチでナットをしっかりと締め込んでください。



取扱説明書

モジュールガーデン



人工木の特性とお手入れ方法 25

安全上のご注意 26

各部の名称 26

修理と保証 27

保証書 28

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。



行なってはいけない内容です。



必ず実行していただく内容です。

お願い

取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

保証書付き

- 製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

人工木の特性とお手入れ方法

素材の特性について

- ・人工木材は樹脂を含んでいるため周囲の温度差による影響で若干の伸縮や反りが起きる場合があります。それにより部品間にわずかに隙間が発生する場合があります。
- ・人工木材の表面は水をほとんど吸わないため、わずかな反りの部分に、降雨などで水たまりができる場合があります。
- ・床板表面の状態や、水たまりの大きさの違いにより、床板ごとに乾燥時間に差が生じる場合があります。
- ・人工木材は材料に天然木を利用しているため、生産ロットにより同色の製品間でも少し色のバラツキが生じることがあります。
- ・長時間使用することで少しずつ色あせやそれに伴い粉が発生します。洗濯物や布団などを直接置かないでください。粉の付着で汚れる場合があります。
- ・人工木材は樹脂を含んでいるため、歩行などの摩擦で静電気を帯びる場合があります。

お掃除：定期的

雨シミが発生した場合には…



- ①全体に十分に散水
 - ②乾かないうちに水を拭き取る
- ※それでも取れない場合は繰り返す

お願い サンドペーパーでこすってのシミ取りは行わないでください。

汚れがひどい場合には…



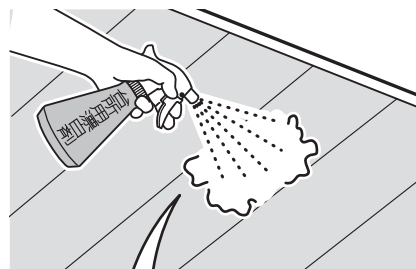
- 汚れがひどい場合は…
薄めた中性洗剤を使用してください。
→洗剤が残らないように水洗い
→乾拭き

- お願い
- ・金属製ブラシ、スチールウール、デッキブラシは使用しないでください。表面をキズつけます。
 - ・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。



カビ(黒い斑点)が発生した場合には…

台所用漂白剤(酸素系)を所定の割合で希釈して使用してください。



- ①水洗い→乾拭き→乾燥
- ②台所用漂白剤(酸素系)をつける
- ③こすらずに放置
(待ち時間を守ってください)
- ④台所用漂白剤(酸素系)を
水で洗い流す。→乾拭き

傷の補修

ナイロン不織布



ナイロン不織布(#60)で
デッキの長さ方向に沿ってこする

お願い ・強くこすりすぎないでください。
下地が出てしまうおそれがあります。

補足 ・全体をぼかすように一定方向に数回
こすると、きれいに補修できます。

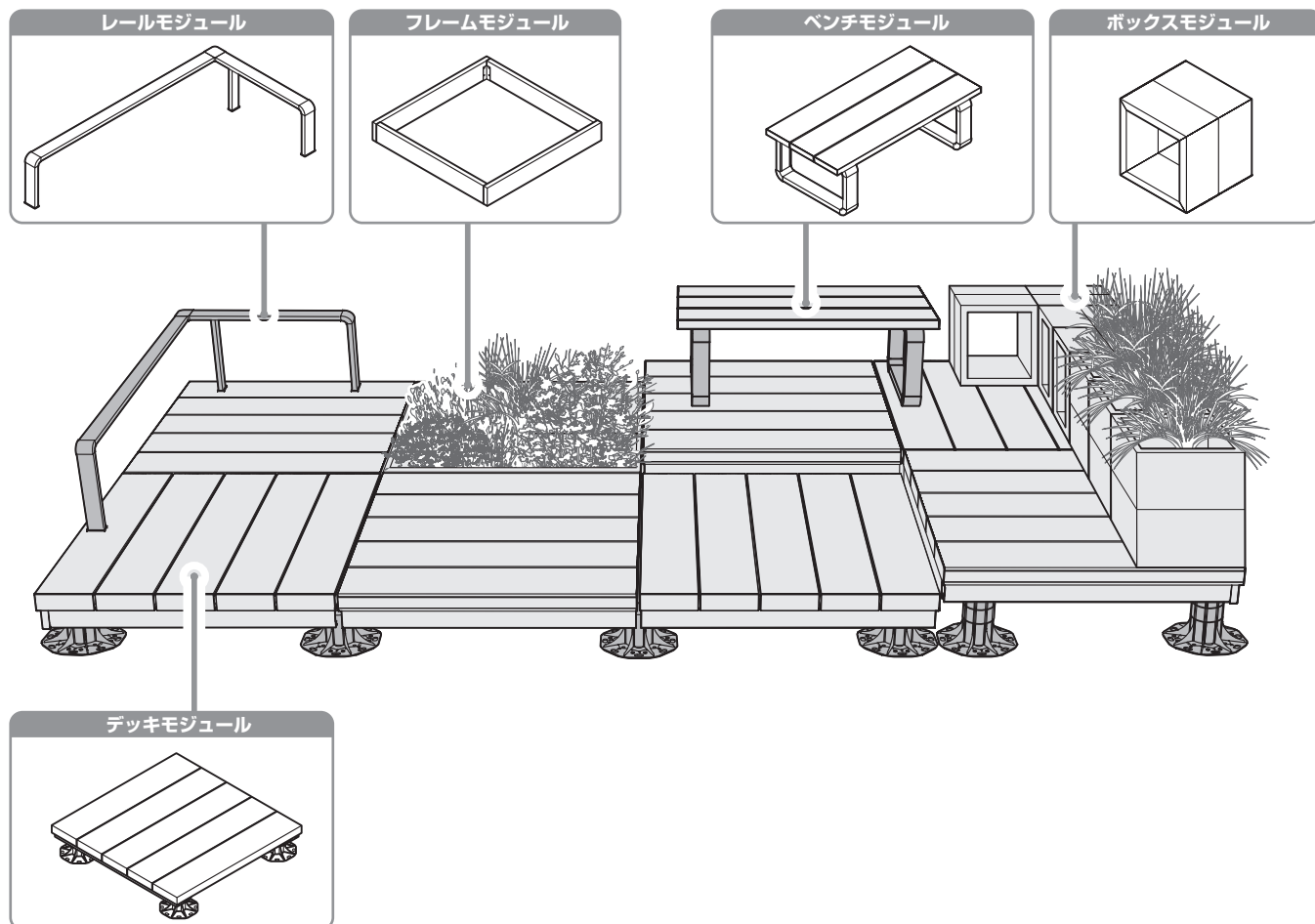
安全上のご注意

デッキモジュールのご注意

⚠ 注意

- ・製品の改造や分解、組立てが不完全なまま使用しないでください。
- ・各部のねじにゆるみがないか季節ごとに点検し、工具を使ってしっかり締め直してください。
- ・配置変えなど、製品を移動する際は手袋などの保護具を付けて作業してください。
- ・加熱したなべやかん、バーベキューグリルなどを直接置かないでください。
- ・限度を超える傾斜や段差、冬季に長期間の積雪がある場所には設置しないでください。
- ・給湯器や暖房機などによる高温の排気が、製品に直接当たらないように配置してください。
- ・屋上やベランダなどに設置する場合、小さな子供が足がかりにして登る、ぶら下がるなどをして遊ばせないようにご注意ください。転落など思わぬ事故やケガの原因になります。
- ・非常用の通路や避難用のハッチをふさぐ場所に設置しないでください。
- ・デッキモジュールの鉛直荷重強度は $2,900\text{N/m}^2$ (296kgf/m^2)です。それ以上の耐荷重が必要な場所ではご使用できません。
- ・オプションのDC12V照明については、照明器具に付属の取扱説明書を参照してください。

各部の名称



修理と保証

(1) 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日(お引渡し日)	1年	2年
D I Y 設 置	無 料	有 料
外構業者工事	無 料	有 料

(3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ の 他	

- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

(4) 点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - ・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - ・部品代は、修理に使用した部品代です。
 - ・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

モジュールガーデン 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電話 ()	

株式会社 LIXIL

- 1. 保証者**
株式会社LIXIL
- 2. 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 3. 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 4. 保証内容**
取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 5. 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間。ラッピングシートの“浮き”や“はがれ”およびそれに伴う“著しい変色”については5年間。)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注) 新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 6. 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ① 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ② 取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさく裂、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥ 商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、目目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
- ⑦ 自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧ 環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩ 実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪ 犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫ 所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433

<https://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

取説コード

EXM-234

JZZ642034
202509_1049